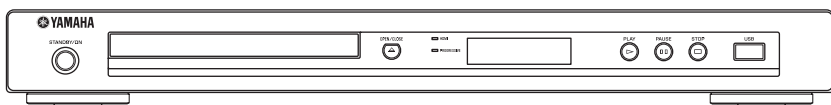




DVD プレーヤー

DVD PLAYER

DVD-S663



取扱説明書

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
- 保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



安全上のご注意




ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすることで生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



警告

電源/電源コード



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
● 異常なおいや音がる。 ● 異常に高温になる。
● 内部に水や異物が混入した。 ● 煙が出る。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。
● 重いものを上に載せない。
● ステープルで止めない。 ● 加工をしない。
● 熱器具には近づけない。 ● 無理な力を加えない。
芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ずAC100V (50/60Hz)の電源電圧で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

電池



禁止

電池を充電しない。
電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因になります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。
液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
 - 加湿器を過度にきかせた部屋
 - 雨や雪、水がかかるところ
- 水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
 - じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
 - 仰向けや横倒しには設置しない。
 - 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
- (本機の周囲に左右 2.5 cm、上 2.5 cm、背面 2.5 cm 以上のスペースを確保する。)
- 本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

使用上の注意



禁止

ディスクの挿入口や、放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。

火災や感電の原因になります。



手を挟まれないよう注意

ディスクをセットする際は、手をディスクトレイに挟まれないよう注意する。

閉めるときに挟まれて、けがの原因になります。



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。

感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。

水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。

接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

⚠ 注意

電源/電源コード



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因になります。



ぬれた手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。

差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱および火災の原因になります。

電池



必ず実行

電池は極性表示(プラス+とマイナス-)に従って、正しく入れる。

間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。

電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外す。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

使い切った電池は、自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。

設置



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。



禁止

ほこりや湿気が多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。



注意

他の電気製品とはできるだけ離して設置する。
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

移動



プラグを抜く

移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。

接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上の注意



必ず実行

電源を入れる前や、再生を始める前には、音量(ボリューム)を最小にする。

突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。



禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



禁止

ディスクの挿入口には手を入れない。
本機のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因になります。



禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクを使用しない。
ディスクは、機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因になります。



注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。

正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



禁止

レーザー光源をのぞき込まない。
レーザー光が目当たると、視覚障害の原因になります。



禁止

業務用機器とは接続しない。
デジタルオーディオインターフェース規格は、民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因になります。

手入れ



必ず実行

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。



禁止

薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。
また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



注意

年に一度くらいは内部の掃除を販売店に依頼する。
ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因になります。

はじめに..... 3
 本書について 3
 付属品..... 3
 リージョンコードについて 3
 再生できるディスク/フォーマット 4
 ディスクのお手入れについて 4
 著作権について 5

各部の名称とはたらき..... 6
 フロントパネル 6
 リアパネル 7
 リモコン 8

接続する..... 9
 接続に関するご注意 9
 音声端子の接続 9
 デジタル入力端子のある機器との接続 9
 アナログステレオ入力端子のある機器
 との接続 9
 映像端子の接続 10
 Sビデオ端子 <A>
 (VIDEO OUT - S VIDEO) 10
 コンポジットビデオ端子
 (VIDEO OUT - VIDEO) 10
 D1/D2ビデオ端子 <C>
 (D1/D2 VIDEO OUT) 10
 HDMI 接続について 11
 HDMI 端子 11
 その他の接続について 12
 USB ポート 12
 リモート端子 (REMOTE CONTROL)
 12

操作前の準備と設定..... 13
 ステップ 1：リモコンに乾電池を入れる 13
 リモコンを使用する 13
 ステップ 2：電源を入れる 13
 ステップ 3：映像方式、アスペクト比、
 表示言語を設定する 14
 テレビの映像方式を設定する 14
 テレビのアスペクト比を設定する 15
 言語を設定する 15
 音声、字幕、ディスクメニューの言語を
 設定する (DVD-Video) 16

操作する..... 17
 基本的な再生操作 17
 トラック/チャプターを選んで再生する
 17
 早戻し/早送りする 17
 リピート (繰り返し)、シャッフル
 (順不同) 再生する 17
 リピート (繰り返し)、シャッフル
 (順不同) 再生する 17
 チャプター/トラック内で A-B
 リピート再生する 18
**DVD、ビデオ CD、スーパービデオ CD の
 各種機能**..... 18
 ディスクメニューを操作する 18
 スロー再生する 18
 映像を拡大/縮小する 18
 前回停止した位置から再生を開始する
 (レジューム機能) 18
 OSD メニューを操作する 19
DVD の各種機能 20
 タイトルを選択して再生する 20
 音声言語/フォーマット、字幕言語を
 選択する 20
ビデオ CD、スーパービデオ CD の各種機能
 20
 プレイバックコントロールメニュー
 (PBC) を操作する 20
**MP3 / WMA / WMV / JPEG /
 DivX® ファイルを再生する**..... 20
 フォルダ、トラック/ファイルを
 選択する 21
ビクチャー CD、JPEG の各種機能..... 21
 プレビュー機能を使う 21
 画像を拡大/縮小する 21
 画像を回転する 22
 MP3 音楽と JPEG 画像を
 同時に再生する 22
DivX® の各種機能..... 22
 インタラクティブメニューを使う 22
 音声/字幕言語を選択する 22
USB デバイスを使用する..... 23
 本機が対応している USB デバイス 23
 データファイルを再生する 23

セットアップメニュー	24
メニュー一覧.....	24
基本的なメニュー操作.....	25
一般設定メニュー.....	26
ディスクをロックする.....	26
USB デバイスに CD のトラックを 録音する.....	26
プログラム再生する (MP3 / WMA / WMV / JPEG / DivX® を除く).....	28
フロントパネルディスプレイの明るさを 調節する.....	28
OSD 言語を設定する.....	29
スクリーンセーバーを設定する.....	29
スリープタイマーを設定する.....	29
DivX® VOD 登録コードを表示する.....	29
オーディオ設定メニュー	29
アナログ出力を設定する.....	29
デジタル出力を設定する.....	29
HDMI 音声出力をオン/オフする.....	30
ナイトリスニングモードを設定する.....	31
映像設定メニュー	31
テレビの映像方式を設定する.....	31
TV ディスプレイを設定する.....	31
プログレッシブモードを設定する.....	32
映像の画質を設定する.....	32
ブラックレベルを設定する.....	33
クローズドキャプションを表示する.....	33
HDMI 映像出力を設定する.....	33
環境設定メニュー	35
音声、字幕、ディスクメニューの 言語を設定する.....	35
視聴制限レベルを設定する (パレンタルコントロール).....	35
VR フォーマットを再生する.....	35
データディスクメニューの表示方法を 選択する.....	36
DivX® 外部字幕グループを選択する.....	36
プレイバックコントロール (PBC) 機能を設定する.....	37
オートスタンバイを設定する.....	37
パスワードを変更する.....	37
設定を初期化する.....	38

言語コード一覧	39
故障かな?と思ったら	40
用語解説	44
主な仕様	46

本書について




- 本機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本書は、本機の基本的な操作方法を説明しています。
- 「ご注意」では、安全や操作に関する留意すべき事項を記載しています。
 - ※では知っておくと便利な補足情報を記載しています。
 - 本書は製品の生産に先がけて作成されたものです。製品改良などの理由により、実際の製品や梱包箱と内容が一部異なる場合がございますのでご了承ください。

付属品

- リモコン
- 単4乾電池（2本）
- 音声／映像ピンケーブル（1.5m）

リージョンコードについて

一般のDVDプレーヤーとDVDビデオにはリージョンコード（発売地域ごとに割り当てられた識別番号）が決められています。本機では下表のディスクを再生できます。詳しくはディスクのジャケットなどの記載もご覧ください。

仕向	本機のリージョンコード	再生できるディスクのリージョンコード
日本		  またはリージョンコード2も含むリージョンのディスク

機器を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届く状態でご使用ください。

■ 音楽を楽しむエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本機は「JIS C 61000-3-2」適合品です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第3-2部：限度値—高調波電流発生限度値（1相当りりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

はじめに

再生できるディスク／フォーマット

本機はディスクのラベル面に下記のロゴマークがついているディスクを再生できます。それ以外のディスクは、本機の故障やディスクの破損の原因となりますので使用しないでください。



本機は以下のディスクやフォーマットを再生することができます：

- DVD Video に対応しているフォーマットで記録された DVD-R/RW/R DL、DVD+R/RW/R DL ディスク
- VR フォーマット (CPRM 対応) で記録された DVD-R/RW ディスク
- CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RW、USB デバイスに記録された MP3、WMA、WMV、JPEG ファイル
- コダックピクチャー CD、フジカラー CD
- ISO 9660 レベル 1 / レベル 2 対応の CD-R/RW
- 最大 8 階層、298 個までのフォルダに保存された、フォルダあたり 648 個までのファイル
- CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RW、USB デバイスに記録されている DivX® ファイル
 - DivX® Ultra Certified 製品
 - DivX® メディアファイルと DivX Media Format の高度な再生機能が付いている DivX® ビデオを再生 (DivX® 6 も含むすべてのバージョンに対応)

ご注意

- ファイナライズされていない CD-R/RW、DVD-R/RW/R DL、DVD+R/RW/R DL ディスクは再生できません。ファイナライズとは、再生対応機器で再生できるよう処理することです。
- プログレッシブ JPEG、コピープロテクトがかけられている WMA / WMV ファイルは再生できません。
- Advanced profile の WMV には対応していません。
- DVD-R/RW/R DL、DVD+R/R DL の最初のセッションのみ再生できます。
- 左記のロゴマークがついていないディスクは動作の保障をいたしかねます。
- 左記のロゴマークがついていても、記録方法 (PC 環境やソフトウェアなど) やディスクの状態 (傷やそりがあるなど) によっては再生できない場合があります。
- ハート型など特殊形状のディスクは使用しないでください。
- テープやシールなどを貼ったり、のりをつけたりしたディスクを使用しないでください。本機内部を傷つける原因になります。



再生できるフォーマットについて詳しくは、「主な仕様」(46 ページ) をご覧ください。

ディスクのお手入れについて

- ディスクが汚れたときは、乾いた柔らかい布で、ディスクの中心から外側へ向けて拭いてください。円を描くように拭かないでください。
- ベンジンやシンナー、市販のレンズクリーナー、レコードクリーナーなどは使用しないでください。



著作権について



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



米国特許 5,451,942、およびその他の国における特許（出願中含む）に基づき製造されています。DTS、および DTS Digital Out は DTS 社の登録商標です。また、DTS ロゴ、および記号は DTS 社の商標です。

著作権 1996-2007 年 DTS 社。不許複製。



DivX、DivX Ultra Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc. の商標です。これらの商標は、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。

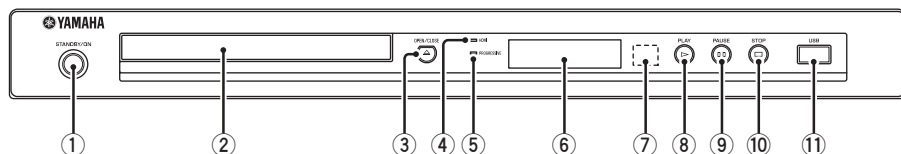


HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョンの許可が必要で、またマクロビジョンの特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の視聴用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

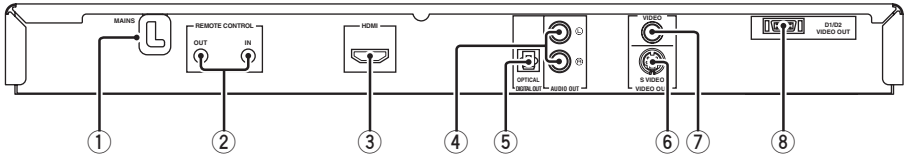
各部の名称とはたらき

フロントパネル



- ① ^{スタンバイ} ^{オン} **STANDBY/ON キー**
本機の電源の入／待機（スタンバイ）を切り替えます（13 ページ）。
スタンバイ中は、リモコンからの赤外線信号を受信するために、少量の電力を消費します。
- ② **ディスクトレイ**
再生するディスクをセットします。
- ③ ^{オープン} ^{クローズ} **OPEN/CLOSE キー (△)**
ディスクトレイを開閉します（17 ページ）。
- ④ **HDMI インジケータ**
本機に AV 機器を接続し、HDMI 端子から信号を出力しているときに点灯します。
- ⑤ ^{プログレッシブ} **PROGRESSIVE インジケータ**
プログレッシブモードのときに点灯します（32 ページ）。
- ⑥ **フロントパネルディスプレイ**
本機の操作状態を表示します。
- ⑦ **リモコン受光窓**
リモコンからの信号を受信します（13 ページ）。
- ⑧ ^{プレイ} **PLAY キー (▷)**
ディスクを再生します。
- ⑨ ^{ポーズ} **PAUSE キー (⏸)**
再生を一時停止します。
コマ送りします（17 ページ）。
- ⑩ ^{ストップ} **STOP キー (□)**
再生を停止します。
- ⑪ **USB ポート**
USB デバイスを接続します（12 ページ）。

リアパネル



① 電源コード

コンセントに接続します。

② REMOTE CONTROL (IN/OUT) 端子

本機の REMOTE CONTROL (IN) 端子を、ヤマハ製 AV アンプのリモートアウト端子に接続します (12 ページ)。また、REMOTE CONTROL (OUT) 端子を、ヤマハ製機器のリモートイン端子に接続します。

③ HDMI 端子

AV 機器の HDMI 入力端子に接続します (11 ページ)。

④ AUDIO OUT (L/R) 端子

AV 機器の音声入力端子に接続します (9 ページ)。

⑤ DIGITAL OUT - OPTICAL 端子

AV 機器の光デジタル入力端子に接続します (9 ページ)。

⑥ VIDEO OUT - S VIDEO 端子

AV 機器の S ビデオ入力端子に接続します (10 ページ)。

⑦ VIDEO OUT - VIDEO 端子

AV 機器のコンポジットビデオ入力端子に接続します (10 ページ)。

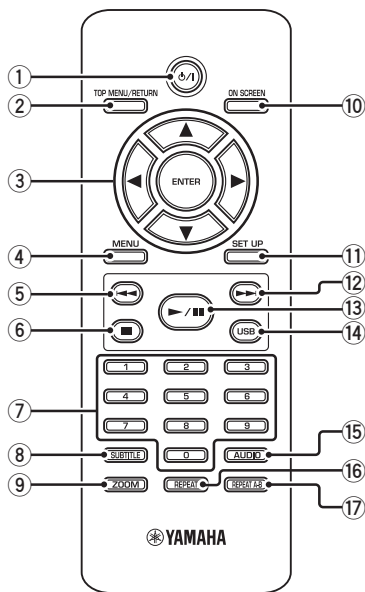
⑧ D1/D2 VIDEO OUT 端子

AV 機器の D1 / D2 ビデオ入力端子に接続します (10 ページ)。

ご注意： リアパネルの端子内にあるピンには触れないでください。静電気により故障の原因となることがあります。

各部の名称とはたらき

リモコン



- ① **⏻/⏹キー**
本機の電源の入/待機（スタンバイ）を切り替えます（13ページ）。
スタンバイ中は、リモコンからの赤外線信号を受信するために、少量の電力を消費します。
- ② **TOP MENU/RETURN キー**
ディスクの最初のメニュー画面を表示します（DVD）。
前のメニューに戻ります（DVD / ビデオ CD）（20ページ）。
- ③ **◀ / ▶ / ▲ / ▼ キー**
メニュー画面などで項目を選択します。早戻し、早送り、スローで再生します（25ページ）。
- ENTER キー**
選択したメニュー項3目などを決定します（25ページ）。
- ④ **MENU キー**
ディスクのメニュー画面を表示します（DVD / JPEG）（18、20、21、22ページ）。
プレイバックコントロールをオン/オフします（ビデオ CD）（20ページ）。

- ⑤ **⏮️ キー**
再生中のチャプターやトラックを頭出しします（17ページ）。
早戻しします（17ページ）。*
- ⑥ **■ キー**
再生を停止します（17ページ）。
ディスクトレイを開けます。*
- ⑦ **数字キー（0-9）**
メニュー画面などで数字を入力します。
- ⑧ **SUBTITLE キー**
字幕言語を切り替えます（20、22ページ）。
- ⑨ **ZOOM キー**
映像を拡大/縮小します（18、21ページ）。
- ⑩ **ON SCREEN キー**
本機の OSD メニュー表示のオン/オフを切り替えます（19ページ）。
- ⑪ **SET UP キー**
本機のセットアップメニュー表示のオン/オフを切り替えます（14、25ページ）。
- ⑫ **▶▶ キー**
次のチャプターやトラックを頭出しします（17ページ）。
早送りします（17ページ）。*
- ⑬ **▶/|| キー**
再生/一時停止します（17ページ）。
- ⑭ **USB キー**
USB モードのオン/オフを切り替えます（23ページ）。
- ⑮ **AUDIO キー**
音声言語やフォーマットを切り替えます（20、22ページ）。
- ⑯ **REPEAT キー**
リピート/シャッフル再生のオン/オフを切り替えます（17ページ）。
- ⑰ **REPEAT A-B キー**
選択した範囲を繰り返し再生します（18ページ）。

* キーを約 2 秒間押し続けます。

接続に関するご注意

接続の前に、本機の電源がオフになっていて、電源コードがコンセントに接続されていないことをご確認ください。

- ご使用になる機器により、いろいろな接続方法があります。本書では、一般的な接続方法を説明します。
- 必要に応じて、接続する機器に付属している取扱説明書もご覧ください。
- 本機を、ビデオデッキを経由してテレビに接続しないでください。コピーガード機能がはたらいて、映像が正しく表示されないことがあります。
- 本機の音声出力端子を、オーディオ機器（アンプなど）の PHONO 端子（レコードプレーヤー接続端子）に接続しないでください。

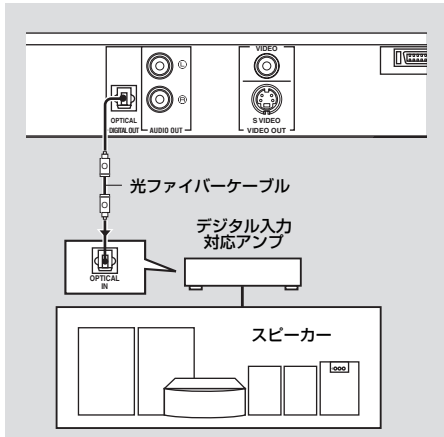
ご注意

- セットアップメニュー「デジタル出力」を「すべて」に設定してください（30 ページ）。
- アンプ側が対応していないデジタル音声フォーマットを出力すると、強いノイズを発生したり音が出なかったりすることがあります。このようなときはディスクのメニュー画面から正しい音声フォーマットを選択してください。また、リモコンの **AUDIO** キーを繰り返し押しすと、音声言語だけでなく、ディスクに記録されている音声フォーマットも切り替わる場合があります。選択したフォーマットがテレビ画面に数秒間表示されます。
- ドルビーデジタルや DTS の再生を楽しむには、それらのフォーマットに対応したアンプに本機を接続してください。

音声端子の接続

デジタル入力端子のある機器との接続

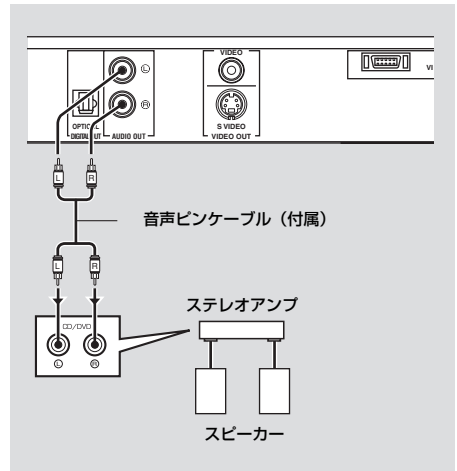
本機は光デジタル音声出力端子を装備しています。市販の光ファイバーケーブルを使って、本機の DIGITAL OUT - OPTICAL 端子をドルビーデジタルや DTS デコーダーを搭載したデジタル入力対応アンプに接続してください。



アナログステレオ入力端子のある機器との接続

本機はアナログステレオ出力端子を装備しています。

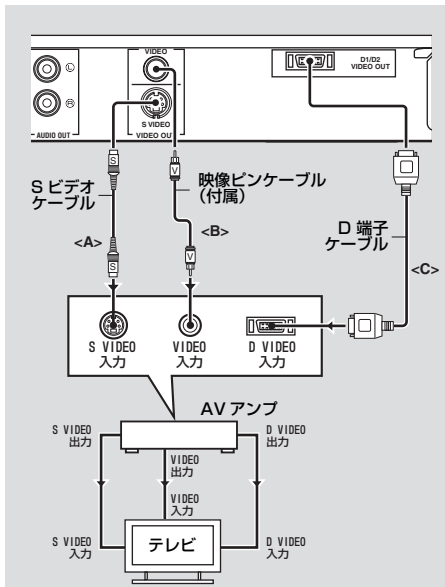
付属の音声ピンケーブルを使って、本機の AUDIO OUT (L/R) 端子をオーディオ機器（ステレオアンプなど）の入力端子に接続してください。



接続する

映像端子の接続

本機と AV アンプ、テレビを映像接続すれば、AV アンプの入力選択キーを押して、異なる映像機器（LD プレーヤーやビデオデッキなど）を切り替えることにより、1 台のテレビでそれらの機器の再生をお楽しみいただけます。本機は 3 種類の映像出力端子を装備しています。接続する機器に装備されている入力端子に合わせて、1 つを選んで接続してください。



S ビデオ端子 <A> (VIDEO OUT - S VIDEO)

色と輝度を分けて伝送することで、一般的な映像信号（コンポジット）より高画質な映像を再生できます。市販の S ビデオケーブルを使って、本機の VIDEO OUT - S VIDEO 端子を AV アンプの S ビデオ入力端子に、また、AV アンプの S ビデオ出力端子をテレビの S ビデオ入力端子に接続してください。

コンポジットビデオ端子 (VIDEO OUT - VIDEO)

付属の映像ピンケーブルを使って、本機の VIDEO OUT - VIDEO 端子を AV アンプのコンポジットビデオ入力端子に、また、AV アンプのコンポジットビデオ出力端子をテレビのコンポジットビデオ入力端子に接続してください。

D1/D2 ビデオ端子 <C> (D1/D2 VIDEO OUT)

色差信号 2 種類と輝度を分けて伝送することで、S ビデオよりさらに高画質な映像を再生できます。また、プログレッシブ信号を出力できるので、プログレッシブ対応のテレビを使用するとさらに高画質な映像がお楽しみいただけます。市販の D 端子ケーブルを使って、本機の D1/D2 VIDEO OUT 端子を AV アンプの D 入力端子に、また、AV アンプの D 出力端子をテレビの D 入力端子に接続してください。

ご注意

本機が対応している D 端子の規格は D1、D2 です。ご使用の AV アンプおよびテレビがこれ以外の規格に対応している場合でも、本機の映像は D1 または D2 で出力されます。

HDMI 接続について

HDMI 端子

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) は、高品質なデジタル音声信号および映像信号を 1 本のケーブルで伝送します。市販の HDMI ケーブルを使って、本機の HDMI 端子を AV アンプの HDMI 入力端子に、また、AV アンプの HDMI 出力端子をテレビの HDMI 入力端子に接続してください。

AV アンプに HDMI 入力端子が装備されていない場合は、テレビの HDMI 入力端子に直接接続することで、他の映像端子を使った接続方法よりも高画質な映像を再生できます。

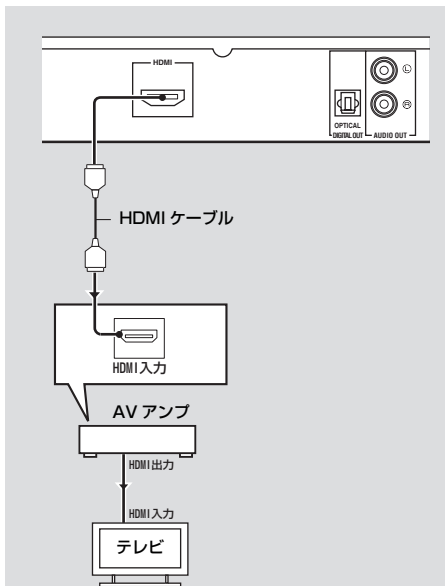
また、HDMI ケーブルを使って本機をハイビジョン対応テレビに接続すれば、高精細な JPEG 画像 (720p、1080i、1080p) も表示できます。詳しくは、「HD JPEG」(34 ページ) をご覧ください。

ご注意

- 「HDMI オーディオ」(30 ページ)、および「HDMI 画質」(34 ページ) を適切に設定してください。
- 接続機器が音声信号を出力しない場合は、別途音声接続を行ってください(「音声端子の接続」9 ページ)。
- 本機は HDCPI に準拠していない HDMI / DVI 機器には対応していません。
- 本機を DVI 機器に接続するには、市販の HDMI - DVI 変換ケーブルが必要です。DVI 機器と接続した場合、本機の HDMI 端子から音声信号は出力されません。
- 接続している DVI 機器により、映像の黒白が鮮明に表示されない場合があります。そのような場合は、DVI 機器の映像設定を調節してください。
- 再生中に本機の HDMI 端子に接続した HDMI / DVI 機器の電源コードをコンセントから抜いたり、電源をオフにしたりしないでください。再生が途切れたり、ノイズが発生したりすることがあります。



HDMI 機器を接続する場合は、お使いの機器に付属している取扱説明書もあわせてご覧ください。



接続する

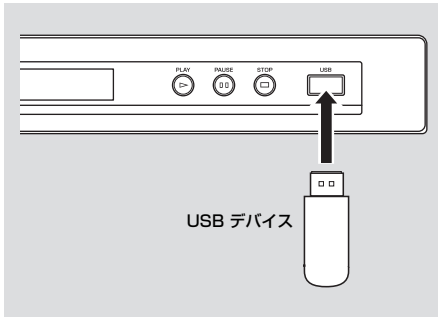
その他の接続について

USB ポート

本機は USB ポートを装備しており、USB デバイスに保存した MP3、WMA、WMV、JPEG、DivX® ファイルを再生することができます。本機フロントパネルの USB ポートに USB デバイスを接続してください。

USB デバイスを USB ポートに接続している場合、CD の音楽を MP3 形式で USB デバイスに録音することができます。詳しくは、「USB デバイスに CD のトラックを録音する」(26 ページ) をご覧ください。

USB デバイスを取り外すには、■ キーを押して再生を停止し、USB キーを押してディスクモードにしてから取り外してください。



ご注意

お使いの USB デバイスによっては、ファイルを再生できない場合があります。

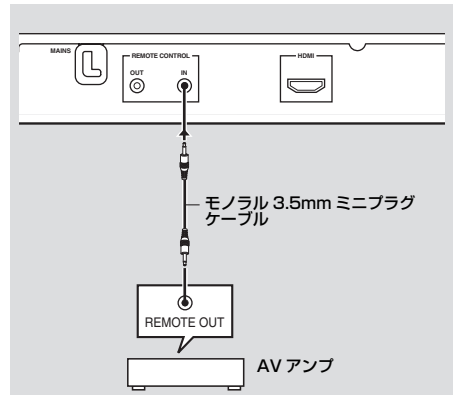


USB デバイスの再生について詳しくは、「USB デバイスを使用する」(23 ページ) をご覧ください。

リモート端子 (REMOTE CONTROL)

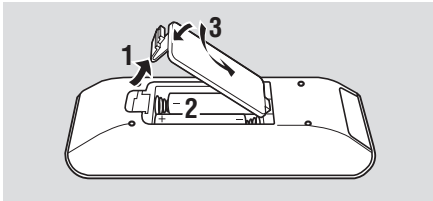
本機はリモート入力/出力端子を装備しています。SCENE コントロール信号の伝送機能を持つヤマハ製 AV アンプをお使いの場合、SCENE 機能を利用することができます。

AV アンプのキーを押すだけで自動的に再生が始まるようにするには、市販のモノラル 3.5mm ミニプラグケーブルを使って、本機の REMOTE CONTROL (IN) 端子を AV アンプのリモート出力端子に接続してください。



- SCENE 機能について詳しくは、ヤマハ製 AV アンプに付属している取扱説明書もご覧ください。
- REMOTE CONTROL (OUT) 端子には、SCENE 機能対応のヤマハ製機器を接続することができます。

ステップ 1： リモコンに乾電池を入れる



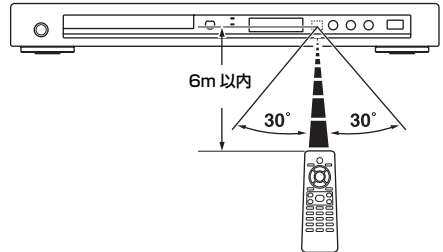
- 1 カバーを開ける。
- 2 電池ケース内に記載されている極性（+ / -）にしたがって、付属の単 4 乾電池（2 本）を電池ケースに挿入する。
- 3 カバーを閉じる。

ご注意

- 乾電池の向き（+ / - 極性）を正しく挿入してください。誤った向きで挿入すると、液漏れの原因となります。
- 使い切った乾電池はただちにリモコンから取り出してください。リモコンに挿入したままにしておくと、液漏れの原因となります。
- 1ヶ月以上リモコンを使用しない場合は、乾電池をリモコンから取り出してください。
- 乾電池が液漏れしている場合は、ただちに乾電池をリモコンから取り出し、廃棄してください。その際、肌や衣服が漏れているバッテリー液に触れることのないよう十分ご注意ください。リモコンにバッテリー液が付着している場合はきれいに拭き取ってから新しい乾電池を挿入してください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の異なる電池（アルカリとマンガンなど）を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性質の異なる場合がありますのでご注意ください。
- 使い切った電池は地域の条例または取り決めに従って廃棄してください。

リモコンを使用する

リモコンで本機を操作する際は、リモコンの赤外線送信部を本体のリモコン受光窓に向けます。リモコン操作が可能な範囲は、本体から 6 m 以内で正面から左右に 30 度以内です。



ご注意

- リモコンに水や飲み物などをこぼさないようご注意ください。
- リモコンを落とさないようご注意ください。
- リモコンを以下のような場所に放置しないでください。
 - 湿度が高い場所（風呂場など）
 - 気温が高い場所（ストーブやヒーターの近くなど）
 - 極端に気温が低い場所
 - ほこりっぽい場所
- リモコンで正しく操作できない場合は、リモコンをリモコン受光窓のやや上方に向けて操作してください。

ステップ 2：電源を入れる

- 1 電源コードをコンセントに接続する。
- 2 テレビと AV アンプの電源を入れる。
- 3 AV アンプの入力を切り替えて、本機を選択する（AV アンプに付属している取扱説明書をご覧ください）。
- 4 フロントパネルの **STANDBY/ON** キー、またはリモコンの **⏻/⏻** キーを押して、本機の電源をオンにする。
→ フロントパネルディスプレイが点灯します。
- 5 テレビの入力を切り替える（テレビに付属している取扱説明書をご覧ください）。
→ テレビに本機の初期画面が表示されます。

操作前の準備と設定

ステップ 3：映像方式、アスペクト比、表示言語を設定する

テレビ画面に表示されるセットアップメニューを使って、本機の設定を変更できます。

ご注意

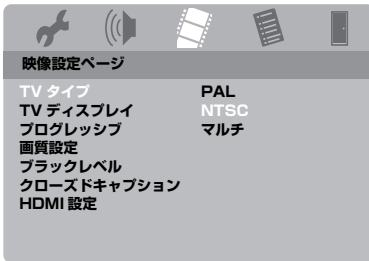
特に記載がない限り、ここでは付属しているリモコンを使った操作方法を説明します。



- 前のメニューに戻るには、カーソル ◀ キーを押してください。
- 設定を間違えて変更してしまった場合でも、すべての設定を初期状態に戻すことができます（「設定を初期化する」38 ページ）。

テレビの映像方式を設定する

本機は NTSC と PAL の映像方式に対応しています。テレビの映像方式をご確認のうえ、正しい映像方式を選択してください。



- 1 SET UP キーを押す。
- 2 ▶ キーを繰り返し押して、「映像設定ページ」を選択する。
- 3 ▲/▼ キーを押して「TV タイプ」を選択し、▶ キーを押す。
- 4 ▲/▼ キーを押して、映像方式を選択する。

PAL

テレビの映像方式が PAL の場合に選択します。再生するディスクが NTSC の場合、信号を変換して PAL で出力します。

NTSC

テレビの映像方式が NTSC の場合に選択します。再生するディスクが PAL の場合、信号を変換して NTSC で出力します。（通常、日本では NTSC 方式が採用されています。）

マルチ

テレビの映像方式が NTSC と PAL の両方に対応している場合（マルチシステムテレビなど）に選択します。再生するディスクの映像と同じ方式で信号を出力します。

5 映像方式を選択したら、ENTER キーを押す。

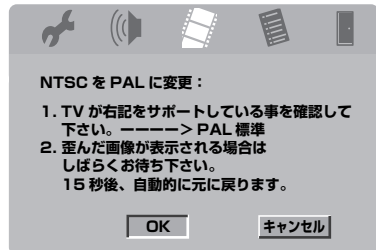
6 SET UP キーを押して、設定を終了する。

ご注意

- 本機の設定を変更する前に、テレビが対応している映像方式を必ずご確認ください。
- HDMI 接続している場合、「TV タイプ」は設定できません。

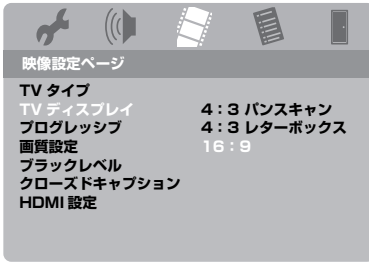


テレビに映像が正しく表示されない場合、約 15 秒間お待ちください。画面が自動的に正常な状態に戻ります。



テレビのアスペクト比を設定する

テレビのアスペクト比に合わせて、本機のアスペクト比を設定できます。テレビのアスペクト比が 16 : 9 の場合、設定を変更する必要はありません。設定について詳しくは、「TV ディスプレイを設定する」(31 ページ) をご覧ください。



- 1 SET UP キーを押す。
- 2 ► キーを繰り返し押し、「映像設定ページ」を選択する。
- 3 ▲/▼ キーを押して「TV ディスプレイ」を選択し、► キーを押す。
- 4 ▲/▼ キーを押して設定を選択し、ENTER キーを押す。
- 5 SET UP キーを押して、設定を終了する。

言語を設定する

セットアップメニューで表示される言語をお好みに応じて選択できます。一度設定すれば、選択した言語で常に表示します。

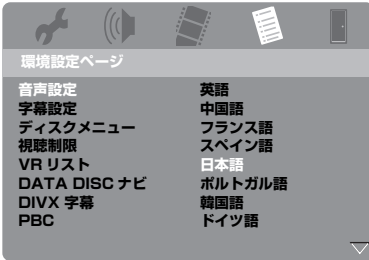


- 1 SET UP キーを押す。
- 2 ◀ / ▶ キーを押して、「一般設定ページ」を選択する。
- 3 ▲/▼ キーを押して「OSD 言語」を選択し、► キーを押す。
- 4 ▲/▼ キーを押して言語を選択し、ENTER キーを押す。
- 5 SET UP キーを押して、設定を終了する。

操作前の準備と設定

音声、字幕、ディスクメニューの言語を設定する (DVD-Video)

音声、字幕、ディスクメニューで表示する言語を選択できます。ディスクをロードすると本機は選択した言語を自動的に表示します。選択した言語がディスク内に記録されていない場合は、ディスクの初期設定言語で表示します。



■ メニューにない言語を設定する

- 1 「音声設定」、「字幕設定」、「ディスクメニュー」で「その他」を選択し、**ENTER** キーを押す。
- 2 **数字キー(0～9)**で4桁の言語コードを入力（「言語コード一覧」39ページ）し、**ENTER** キーを押す。
- 3 **SET UP** キーを押して、設定を終了する。

- 1 ■ キーを2回押して再生を停止してから（再生している場合）、**SET UP** キーを押す。
- 2 ► キーを繰り返し押して、「環境設定ページ」を選択する。
- 3 ▲/▼ キーを押して以下のいずれかの項目を選択し、► キーを押す。
 - ・ 音声設定
 - ・ 字幕設定
 - ・ ディスクメニュー
- 4 ▲/▼ キーを押して言語を選択し、**ENTER** キーを押す。
- 5 手順3、4を繰り返し操作して、他の項目の言語を設定する。
- 6 **SET UP** キーを押して、設定を終了する。

ご注意

- キー操作時にアイコン (Ⓞ) がテレビ画面に表示される場合、再生中のディスク、または現在の状態では、該当キーの操作が適用できないことを表しています。
- ディスクにより、操作や機能が本書の記載と異なる場合があります。このような場合は、ディスクに付属している説明書をご覧ください。
- ディスクトレイを押したり、ディスクトレイにディスク以外のものを置いたりしないでください。故障の原因になります。

基本的な再生操作

- 1 本機の電源がオンになっていることを確認する。
- 2 フロントパネルの **OPEN/CLOSE** (△) キーを押して、ディスクトレイを開く。
- 3 ラベル面を上にして、ディスクをディスクトレイにセットする。
- 4 **OPEN/CLOSE** (△) キーをもう一度押して、ディスクトレイを閉じる。
 - 本機がディスクを認識すると、自動的に再生が始まります。
 - ディスクトレイが開いているときに ▶/|| キーを押すと、自動的にディスクトレイが閉じて再生が始まります。
- 5 再生を一時停止するには、再生中に ▶/|| キーを押します。
 - 再生が一時停止し、音声をミュート (消音) します。
 - コマ送りするには、フロントパネルの **PAUSE** (⏏) キーを繰り返し押します。
- 6 通常の再生に戻るには、▶/|| キーをもう一度押します。
- 7 再生を停止するには、■ キーを押します。

トラック／チャプターを選んで再生する

- 1 ◀◀ / ▶▶ キー、または数字キー (0 ~ 9) を押して、トラック番号、またはチャプター番号を選択する。
- 2 リピート再生中に同じトラック／チャプターを最初から再生するには、◀◀ / ▶▶ キーを押す。

早戻し／早送りする

- 1 ◀◀ / ▶▶ キーを長押しする、または ◀ / ▶ キーを押す。
- 2 早戻し／早送りのスピードを変えるには、早戻し／早送り中に ◀◀ / ▶▶ キー、または ◀ / ▶ キーを繰り返し押す。
- 3 通常の再生に戻るには、▶/|| キーを押す。

ご注意

ディスクにより、◀ / ▶ キーが機能しない場合があります。

※

MP3 / WMA / WMV / DivX® ファイルでは、現在再生しているトラックを早戻し／早送りすることができます。

リピート (繰り返し)、シャッフル (順不同) 再生する

リピート (繰り返し)、シャッフル (順不同) 再生する

再生中に **REPEAT** キーを押すたびに、フロントパネルディスプレイの表示が以下のように変わります。

DVD Video

- RPT ONE (チャプターのリピート)
- RPT TT (タイトルのリピート)
- RPT ALL (ディスク全体のリピート)
- SHUFFLE (シャッフル)
- RPT SHF (シャッフルリピート)
- RPT OFF (通常再生)

操作する

DVD VR フォーマット

- RPT ONE (チャプターのリピート)
- RPT TT (タイトルのリピート)
- RPT ALL (ディスク全体のリピート)
- RPT OFF (通常再生)

ビデオ CD/スーパービデオ CD/CD

- RPT ONE (トラックのリピート)
- RPT ALL (ディスク全体のリピート)
- SHUFFLE (シャッフル)
- RPT SHF (シャッフルリピート)
- RPT OFF (通常再生)

MP3/WMA/WMV/DivX®

- RPT ONE (ファイルのリピート)
- RPT FLD (フォルダのリピート)
- SHUFFLE (シャッフル)
- RPT OFF (通常再生)

ご注意

ビデオ CD、およびスーパービデオ CD でプレイバックコントロール機能を使用しているときは、リピート再生は機能しません(「ビデオ CD、スーパービデオ CD の各種機能」20 ページ)。

チャプター／トラック内で A-B リピート再生する

- 1 ディスクを再生中に、リピートを開始したい位置で **REPEAT A-B** キーを押す。
→ フロントパネルディスプレイに「SET A」と表示されます。
- 2 リピートを終了したい位置でもう一度 **REPEAT A-B** キーを押す。
 - ・ 開始位置と終了位置は、同一のチャプター、またはトラック内で設定できます。→ フロントパネルディスプレイに「RPT AB」と表示され、指定した範囲を繰り返し再生します。
- 3 リピート再生をオフにするには、**REPEAT A-B** キーを押します。

DVD、ビデオ CD、スーパービデオ CD の各種機能

ディスクメニューを操作する

ディスクにより、ディスクを読み込むとテレビ画面にメニューを表示する場合があります。

■ 機能や項目を選択する

◀ / ▶ / ▲ / ▼ キー、または数字キー (0 ~ 9) で機能や項目を選択し、**ENTER** キーを押して再生を開始する。

■ メニューを表示／非表示する

MENU キーを押す。

スロー再生する

通常よりもゆっくり再生します。

- 1 スロー再生するには、再生中に ▼ キーを、逆スロー再生するには、再生中に ▲ キーを押します。
- 2 スロー／逆スロー再生中に ▲ / ▼ キーを繰り返し押し、速度を変更します。
- 3 通常の再生に戻るには、▶ / || キーを押します。

ご注意

ビデオ CD、およびスーパービデオ CD では、逆スロー再生することはできません。

映像を拡大／縮小する

映像を拡大／縮小して、表示範囲を調節します。

- 1 再生中に **ZOOM** キーを繰り返し押し、倍率を選択する。
 - ・ ◀ / ▶ / ▲ / ▼ キーを押して、表示範囲を調節してください。
 - 再生はそのまま続きます。
- 2 元のサイズに戻すには、**ZOOM** キーを繰り返し押し。

前回停止した位置から再生を開始する (レジューム機能)

最近再生したディスク 10 枚分の停止位置を記憶して、その位置から再生を開始することができます。ディスクを本機から取り出したり、本機の電源をスタンバイにしたりしても、停止位置の記憶は失われません。

1 最近再生した10枚の中の1枚を本機にセットする。

→ テレビ画面に「ロード中」と表示されます。

2 「ロード中」と表示しているあいだに、▶/|| キーを押す。

→ テレビ画面に「レジューム再生」と表示され、前回停止した位置から再生を開始します。

■ レジューム機能を解除する

再生が停止している状態で、もう一度

■ キーを押す。

ご注意

DVD VR フォーマットでは、レジューム機能は使えません。

OSD メニューを操作する

OSD メニューでは、再生中のディスクに関するさまざまな情報（タイトル／チャプター番号、再生経過時間、音声／字幕言語など）を表示します。これらは、再生を楽しみながら操作することができます。

1 再生中に、ON SCREEN キーを押す。

→ テレビ画面にディスク情報が表示されます。

DVD

メニュー	
タイトル	02/14
チャプター	02/14
音声設定	5.1CH
字幕設定	ENG
ビットレート 16 III タイトル経過時間 0:02:25	

ビデオ CD/スーパービデオ CD

メニュー	
トラック	02/14
トータル時間	0:49:17
トラック時間	0:03:43
リビート	オフ
ビットレート 16 III ディスク経過時間 0:02:25	

2 ▲/▼ キーを押して、表示したい項目を選択し、ENTER キーを押す。

3 数字キー（0～9）を押して数字／時間を入力する、または▲/▼ キーを押して項目を選択し、ENTER キーを押す。
→ 設定した時間／タイトル／チャプターから再生します。

■ タイトル／チャプター／トラックを選択する（DVD／ビデオ CD）

1 ▲/▼ キーを押して「タイトル」、または「チャプター」（DVD）、「トラック」（ビデオ CD）を選択する。

2 ENTER キーを押す。

3 数字キー（0～9）を押して、タイトル、チャプター、トラック番号を選択する。

■ 時間を指定して再生する（DVD／ビデオ CD）

1 ▲/▼ キーを押して「タイトル時間」／「チャプター時間」（DVD）、または「トータル時間」／「トラック時間」（ビデオ CD）を選択する。

- 「タイトル時間」は再生中のタイトルの経過時間、「チャプター時間」は再生中のチャプターの経過時間を表しています。

2 ENTER キーを押す。

3 数字キー（0～9）を押して、左から順に、時間：分：秒を入力する（例：0:34:27）。

■ 音声／字幕／アングルを選択する（DVD）

再生しているディスクに音声、字幕、アングルの選択機能がある場合、それらの設定を変更することができます。

1 ▲/▼ キーを押して、「音声設定」、または「字幕設定」、「アングル」を選択する。

2 ENTER キーを押す。

3 音声／字幕を設定する：

▲/▼ キーを押して項目を選択し、ENTER キーを押す。

アングルを設定する：

数字キー（0～9）を押して、再生したいアングルを選択する。

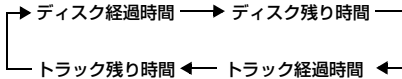
操作する

■ リピート／時間表示の設定を変更する (DVD / ビデオ CD)

- 1 ▲/▼ キーを押して、「リピート」、または「時間表示」を選択する。
- 2 ENTER キーを押す。
- 3 ▲/▼ キーを押して項目を選択し、ENTER キーを押す。

■ 時間表示の設定を変更する (CD)

ON SCREEN キーを押すたびに、表示が以下のように変わります。



ご注意

ディスクにより、ON SCREEN キーを押しても OSD が表示されない場合があります。

DVD の各種機能

タイトルを選択して再生する

- 1 MENU キーを押す。
→ テレビ画面にディスクタイトルメニューが表示されます。
- 2 ◀ / ▶ / ▲ / ▼ キー、または数字キー (0 ~ 9) を押して、項目を選択する。
- 3 ENTER キーを押す。

音声言語／フォーマット、字幕言語を選択する

■ 音声言語／フォーマットを選択する

AUDIO キーを繰り返し押して、音声言語／フォーマットを選択する。

■ 字幕言語を選択する

SUBTITLE キーを繰り返し押して、字幕言語を選択する。

ビデオ CD、スーパービデオ CD の各種機能

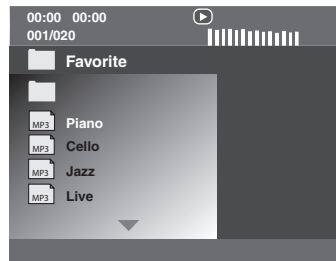
プレイバックコントロールメニュー (PBC) を操作する

プレイバックコントロール機能 (PBC) に対応しているビデオ CD (バージョン 2.0 以降) 用のメニューです。

- 1 MENU キーを押して、「PBC ON」、または「PBC OFF」を選択する。
→ 「PBC ON」を選択した場合、テレビ画面にディスクメニューが表示されます (対応ディスクのみ)。
 - 2 数字キー (0 ~ 9) を押して、項目を選択する。
 - ◀◀ / ▶▶ キーを押して、ページを切り替える。(2 ページ以上ある場合)
 - 3 メニュー画面に戻るには、再生中に TOP MENU / RETURN キーを押す。
- #### ■ プレイバックコントロールメニューを終了し、ディスクを最初から再生する
- MENU キーを押して、プレイバックコントロールメニューをオフにする。

MP3 / WMA / WMV / JPEG / DivX® ファイルを再生する

- 1 ディスクをロードする
 - ディレクトリ / ファイル構成が複雑な場合、読み込み時間が 30 秒を超えることがあります。
 - テレビ画面にディスクメニューが表示されます。



- 再生が自動的に始まります。自動的に再生されない場合は、▶/|| キーを押します。
- ◀◀/▶▶ キーを押して、現在再生中のフォルダ内にあるトラック／ファイルを選択する。

ご注意

- JPEG では、画像のアスペクト比により、ファイルが表示されない場合があります。
- ディスクの構成や記録状況などにより、MP3 / WMA / WMV / JPEG / DivX® ディスクを再生できない場合があります。
- 最初の画像を表示するときや本機からディスクを取り出すときに、HD JPEG 画像が一瞬乱れる場合があります。HD JPEG について詳しくは、「HD JPEG」(34 ページ) をご覧ください。
- 画像のサイズにより、HD JPEG 画像が小さく表示される場合があります。

フォルダ、トラック／ファイルを選択する

- ▲/▼ キーを押してフォルダを選択し、ENTER キーを押してフォルダを開く。
- ▲/▼ キーを押して、トラック／フォルダを選択する。
- ENTER キーを押す。
→ 選択したファイルから再生が始まり、フォルダの最後まで再生します。

ピクチャー CD、JPEG の各種機能

- ピクチャーディスク (JPEG、またはコダックピクチャー CD、フジカラー CD) をセットする。
→ JPEG の場合、テレビ画面にディスクメニューが表示されます。
→ コダックピクチャー CD、およびフジカラー CD の場合、スライドショーが表示されます。

■ JPEG でスライドショーを表示する

- ▶/|| キーを押す。

プレビュー機能を使う

現在再生しているフォルダやディスク全体の内容を表示します。

- 再生中に ■ キーを押す。
→ テレビ画面に 12 枚のサムネイルが表示されます。



- ◀◀/▶▶ キーを押して、ページを切り替える。
- ◀/▶/▲/▼ キーを押してサムネイルを選択し、ENTER キーを押して画像を通常のサイズで表示する。

または

表示しているページの最初のサムネイルから画像を表示するには、◀/▶/▲/▼ キーを押して、ページ下段に表示されている [] を選択し、ENTER キーを押す。

■ JPEG メニューに戻る

- MENU キーを押す。

画像を拡大／縮小する

- 再生中に ZOOM キーを繰り返し押して、倍率を選択する。
- ◀/▶/▲/▼ キーを押して、表示範囲を調節する。

操作する

画像を回転する

再生中に ◀ / ▶ / ▲ / ▼ キーを押して、画像を回転する。

- ◀ : 画像を反時計回りに回転します。
- ▶ : 画像を時計回りに回転します。
- ▲ : 画像を垂直に反転します。
- ▼ : 画像を水平に反転します。

MP3 音楽と JPEG 画像を同時に再生する

- 1 MP3 音楽と JPEG 画像の両方が記録されているディスクをロードする。
→ テレビ画面にディスクメニューが表示されます。
- 2 MP3 音楽トラックを選択する。
- 3 MP3 音楽を再生しているあいだに、テレビ画面に表示されている JPEG 画像を選択し、**ENTER** キーを押す。
→ 画像ファイルがフォルダの最後まで順番に表示されます。
- 4 **MENU** キーを押してから **■** キーを押して、同時再生を停止する。

ご注意

- ディスクの構成や記録状態により、ファイルを再生できない場合があります。
- 「HD JPEG」を「オン」(34 ページ) に設定している場合、MP3 と JPEG を同時に再生することはできません。

DivX® の各種機能

DMF (DivX® Media Format) 機能をもつ DivX® ファイルで有効です。

インタラクティブメニューを使う

- 1 ディスクをロードし、ファイルを選択する。
→ テレビ画面にインタラクティブメニューが表示されます。
 - 2 ◀ / ▶ / ▲ / ▼ キーを押して、チャプターを選択する。
 - 3 **ENTER** キー、または ▶ / **||** キーを押して、選択したチャプターを再生する。
- **インタラクティブメニューにアクセスする**
再生中に **MENU** キーを押す。
 - **ディスクメニュー画面に戻る**
インタラクティブメニューが表示されているときに **■** キーを押す。

音声 / 字幕言語を選択する

■ 音声言語を選択する

再生中に **AUDIO** キーを押して、コンテンツに記録されている音声言語を切り替える。

■ 字幕言語を切り替える

再生中に **SUBTITLE** キーを押して、コンテンツに記録されている字幕言語を切り替える、または字幕表示をオン / オフする。



外部字幕ファイルについて詳しくは、「DivX® 外部字幕グループを選択する」(36 ページ) をご覧ください。

USB デバイスを使用する

本機が対応している USB デバイスに記録されている MP3、WMA、WMV、JPEG、DivX® ファイルを再生します。

本機が対応している USB デバイス

本機は FAT16、または FAT32 ファイルシステムを採用している、USB マスストレージクラスの USB デバイスに対応しています。対応しているデバイスは、フラッシュメモリー、カードリーダー、ポータブルオーディオプレーヤーです。

ご注意

- お使いのデバイスによっては正常に再生できない場合があります。
- USB デバイスを接続したときにテレビ画面に「非対応 USB デバイスです」と表示される場合は、以下の操作をしてください。
 - 本機の電源を一度スタンバイにしてから、再度オンにする。
 - 本機の電源がスタンバイのときに一度 USB デバイスを本機から抜き、再度接続してから電源をオンにする。
 - USB デバイスに電源アダプターが付属されている場合は、USB デバイスに電源アダプターを接続する。これらの操作をしても「非対応 USB デバイスです」と表示される場合、お使いの USB デバイスを本機で使用することはできません。
- テレビ画面に「USB の消費電力が大きすぎます 非対応 USB デバイスです」と表示された場合、接続している USB デバイスの消費電力が本機の供給電力を超過しています。お使いの USB デバイスを本機で使用することはできません。
- 本機はカードリーダーの6つまでのスロットを認識できますが、2つ以上のスロットを同時に読み込むことはできません。1番目のスロットを優先的に読み込みます。
- USB マスストレージクラスデバイス以外の USB デバイスを接続しないでください：USB 充電器、USB ハブ、パソコンなど
- ハードディスクドライブには対応していません。

データファイルを再生する

- 1 USB デバイスを本機の USB ポートに接続する（「USB ポート」12 ページ）。
 - テレビ画面に「デバイスを切り替えるには USB キーを押してください」と表示されます。
- 2 USB キーを押す。
 - ファイル／フォルダの数により、読み込み時間が 30 秒を超えることがあります。
 - テレビ画面にファイルメニューが表示されます。
- 3 「MP3 / WMA / WMV / JPEG / DivX® ファイルを再生する」（20 ページ）の手順を操作する。

■ USB モードを終了する

- キーを押して再生を停止し、USB キーを押す。
 - ディスクモードに切り替わります。

■ USB デバイスを取り外す

ディスクモードに切り替えてから、USB デバイスを本機から取り外します。

ご注意

- ヤマハ、および販売店では、本機に接続した USB デバイスに記録されているデータの消失に関して責任を負いかねます。データの消失に備え、データのバックアップをとっておくことをおすすめします。
- テレビ画面に「ロード中」と表示されているときは USB モードにアクセスできません。
- 本機から USB デバイスを取り外したり、ディスクトレイを開けたりした場合、再生モードは自動的にディスクモードに切り替わります。
- 本機は648までのファイルを表示できます。本機で再生できないファイルが含まれている場合、648未満のファイルを表示することがあります。
- USB デバイスがパーティションで区切られている場合、最初のパーティションのみ表示します。
- 本機は4ギガバイト以下のファイルを再生できます。

セットアップメニュー

メニュー一覧

表中の太字で記載している項目/パラメーターは、初期設定を表しています。

設定ページ	メニュー項目	設定項目/サブメニュー	設定項目/パラメーター	ページ	
一般設定ページ	ディスクロック	ロック、 ロック解除		26	
	MP3 録音	(セットアップメニュー表示)		26	
	プログラム	(入力メニュー表示)		28	
	ディマー	100% 、70%、40%		28	
	OSD 言語	日本語 、ENGLISH		29	
	スクリーンセーバー	オン 、オフ		29	
	スリープ	30分、60分、90分、120分、150分、 オフ		29	
	DivX(R) VOD コード	(DivX®登録コード表示)		29	
オーディオ設定ページ	アナログ出力	ステレオ 、LT/RT		29	
	デジタルオーディオ	デジタル出力	オフ、 すべて 、PCMのみ	30	
		LPCM 出力	48KHz 、96KHz	30	
	HDMI オーディオ	オン 、オフ		30	
	ナイトリスニングモード	オン 、 オフ		31	
映像設定ページ	TV タイプ	PAL、 NTSC 、マルチ		31	
	TV ディスプレイ	4:3 バンスキャン、4:3 レターボックス、 16:9		31	
	プログレッシブ	オフ 、オン		32	
	画質設定	標準、明るい、ソフト			32
		パーソナル (明るさ)	-20 ~ +20 (0)		32
		(コントラスト)	-16 ~ +16 (0)		
		(色彩)	-9 ~ +9 (0)		
	(カラー)	-9 ~ +9 (0)			
	ブラックレベル	オン 、 オフ			33
	クローズドキャプション	オン 、 オフ			33
HDMI 設定	ワイドスクリーン形式	スーパーワイド、4:3 ピラーボックス、 オフ		34	
	HDMI 画質	480P、576P、720P、1080i、1080P、 自動		34	
	HD JPEG	オン 、 オフ		34	
環境設定ページ	音声設定	日本語 など		35	
	字幕設定	オフ、 日本語 など		35	
	ディスクメニュー	日本語 など		35	
	視聴制限	レベル 1、レベル 2、レベル 3、レベル 4、レベル 5、レベル 6、レベル 7、 レベル 8		35	
	VR リスト	オリジナルリスト 、プレイリスト		35	
	DATA DISC ナビ	メニューなし、 メニューあり		36	
	DIVX 字幕	グループ 1 、グループ 2、グループ 3、グループ 4、グループ 5		36	
	PBC	オン 、オフ		37	
	オートスタンバイ	オン 、オフ		37	
	パスワード	変更		37	
	デフォルト	リセット		38	

セットアップメニュー

基本的なメニュー操作

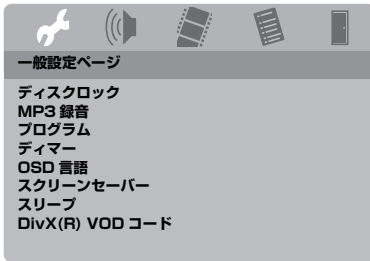
セットアップメニューでは、テレビ画面を見ながら本機の各種設定を変更できます。セットアップメニューの操作については下記の手順をお読みください。



- 前のメニューに戻るには、◀ キーを押してください。
- 設定を間違えて変更してしまった場合でも、すべての設定を初期状態に戻すことができます（「設定を初期化する」38 ページ）。
- 各メニューの内容について詳しくは、次ページ以降の説明をご覧ください。

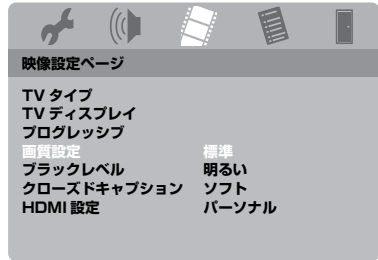
1 SET UP キーを押す。

- テレビ画面にセットアップメニューのトップメニューが表示されます。



- ### 2 ◀ / ▶ キーを押して、メインメニューを選択する。

- ### 3 ▲ / ▼ キーを押して、設定を変更するメニュー項目を選択する。
- メニュー項目、および設定項目が表示されます。

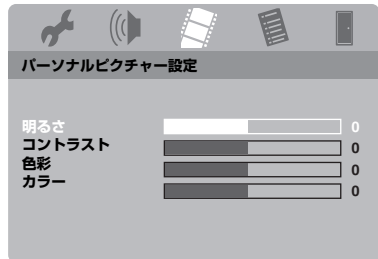


- 選択したメニュー項目の下にサブメニューがある場合、設定項目は表示されません。このような場合は、ENTER キーを押してから手順 3 を操作してください。

4 ▶ キーを押す。

5 ▲ / ▼ キーを押して設定項目を選択し、ENTER キーを押す。

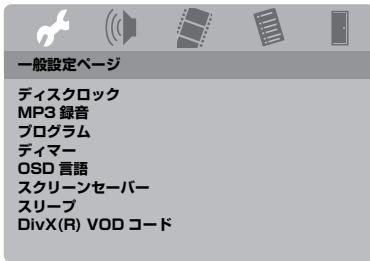
- パラメーターが表示された場合は、◀ / ▶ キーを押して設定を調節してから ENTER キーを押してください。



- ### 6 SET UP キーを押して、設定を終了する。

セットアップメニュー

一般設定メニュー



ご注意

- 本機で作成した MP3 ファイルは、個人で楽しむ場合以外は、著作権者に無断で使用することはできません。
- ヤマハ、および販売店では、本機に接続した USB デバイスに記録されているデータの消失に関して責任を負いかねます。データの消失に備え、データのバックアップをとっておくことをおすすめします。
- CD 規格に準拠していない音楽ディスクは動作の保障をいたしかねます。
- CD 規格に準拠していない、コピープロテクトがかけられている音楽ディスクは録音できません。
- SCMS (Serial Copy Management System) により、デジタルコピーが禁止されているトラックは録音できません。
- テレビ画面に「USB の消費電力が大きすぎます 非対応 USB デバイスです」と表示された場合、接続している USB デバイスの消費電力が本機の供給電力を超過しています。お使いの USB デバイスを本機で使用することはできません。
- 「非対応 USB デバイスです」、または「USB の消費電力が大きすぎます 非対応 USB デバイスです」と表示された場合、接続している USB デバイスは本機に対応していません。本機が対応しているデバイスを接続してください。
- 録音中は USB デバイスを取り外したり、本機の電源をスタンバイにしたりしないでください。

ディスクをロックする

すべてのディスクがディスク制作者によって年齢制限が規定されていたり、暗号化されているわけではありません。ディスクにロックをかけることにより、特定のディスクの再生を制限することができます。本機では、40 枚までのディスクをロックすることができます。

- 「一般設定ページ」の「ディスクロック」を選択する。

ロック

現在本機にセットされているディスクの再生を制限します。設定後にディスクを再生する場合は、6 桁のパスワードを入力する必要があります。パスワードの初期設定は「000 000」です（「パスワードを変更する」37 ページ）。

ロック解除

ディスクのロックを解除します。

USB デバイスに CD のトラックを録音する

本機に接続している USB デバイスに CD のトラックを録音します。トラックは MP3 形式で録音されます。



本機が対応している USB デバイスについて詳しくは、「本機が対応している USB デバイス」(23 ページ) をご覧ください。

- 1 USB デバイスを本機の USB ポートに接続する（「USB ポート」12 ページ）。
- 2 ディスクをロードする（「基本的な再生操作」17 ページ）。
- 3 「一般設定ページ」で ▲/▼ キーを押して「MP3 録音」を選択し、▶ キーを押して「設定」を選択する。

セットアップメニュー

- 4 ENTER キーを押す。
- 5 MP3 録音設定画面で▲/▼キーを押して「スピード」を選択し、ENTER キーを繰り返し押し、変更したい項目を選択する。

MP3 録音		トラック	
オプション			
スピード	ノーマル	Track 01	03:34
ビットレート	128 kbps	Track 02	06:42
		Track 03	03:42
		Track 04	03:09
		Track 05	02:50
		Track 06	00:34
		Track 07	05:15
			▼
サマリー			
選択済み	0		
合計時間	00:00		
開始	終了	全曲選択	全選択解除

ノーマル

通常の方法で録音します。

ファースト

約 2 倍の方法で録音します。



「ノーマル」を選択した場合、録音しながら再生を楽しむことができます。

- 6 ▲/▼キーを押して「ビットレート」を選択し、ENTER キーを繰り返し押し、ビットレートを選択する。

96 kbps、128 kbps、192 kbps、256 kbps、320 kbps
音楽データのビットレートを選択します。



通常、ビットレートが高いほど音質は向上しますが、デバイスにより多くの容量を必要とします。

- 7 ▶ キーを押す。

- 8 「トラック」で▲/▼キーを押して、録音するトラックを選択し、ENTER キーを押して決定する。必要に応じ、この手順を繰り返して他のトラックを選択する。

→ 選択したトラックの数と合計時間が「サマリー」に表示されます。

- 「トラック」で、トラックが 1 ページ以上表示されることがあります。このような場合は、▲/▼キーを押して▼、または▲を選択し、ENTER キーを押してページを切り替えてください。
- 「全曲選択」、または「全選択解除」で、すべてのトラックを選択したり、すべてのトラックの選択を解除したりすることができます。

- 9 ◀ キーを押して、「スピード」に戻る。

- 10 ▲/▼ キーを押して「開始」を選択し、ENTER キーを押す。

- 録音を中止するには、「キャンセル」を選択してから ENTER キーを押します。

ご注意

- 以下の場合、録音は開始されません。
 - 本機が対応していない USB デバイスを接続している
 - USB デバイスを接続していない
 - テレビ画面に「USB の消費電力が大きすぎます 非対応 USB デバイスです」と表示されている
- 録音中は ENTER 以外のキーを押さないでください。

- 11 録音が完了したら、◀/▶/▲/▼ キーを押して「終了」を選択し、ENTER キーを押して MP3 録音設定を終了します。

セットアップメニュー



作成したファイルは「TRACKxxx」のように名前がつけられます。「xxx」には、001 から 999 までの数字が順番に入ります。

ご注意

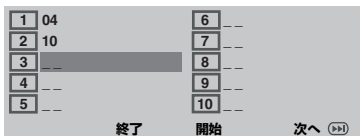
- 録音中に USB デバイスを取り外すと、録音は中止されます。
- 本機に接続した USB デバイスに保存されているファイルを本機で編集（ファイルの削除や名前の変更など）することはできません。

プログラム再生する (MP3 / WMA / WMV / JPEG / DivX® を除く)

プログラムを作成すると、トラックやチャプターをお好みの順番で再生することができます。1 枚のディスクにつき 20 トラックまで、最大 10 枚のディスクを設定することができます。

- 「一般設定ページ」で ▲/▼ キーを押して「プログラム」を選択し、▶ キーを押して「入力メニュー」を選択する。
- ENTER キーを押す。
→ テレビ画面に設定メニューが表示されます。

プログラム：トラック (01-17)



■ プログラムを入力する

- 数字キー (0 ~ 9) を押して、トラック/チャプター番号を入力する。

- ◀ / ▶ / ▲ / ▼ キーを押して、カーソルの位置を合わせる。
 - トラック/チャプター番号が 11 以上の場合、▶▶ キーを押してページを切り替えてからプログラムの入力を続行してください。
または
 - ◀ / ▶ / ▲ / ▼ キーを押してプログラムメニューの「次へ」を選択し、ENTER キーを押す。

- 手順 3、4 を繰り返し操作して、他のトラック/チャプター番号を入力する。

■ トラックを削除する

- ◀ / ▶ / ▲ / ▼ キーを押して、削除したいトラックを選択する。
- ENTER キーを押して、プログラムからトラックを削除する。

■ プログラム再生する

- ◀ / ▶ / ▲ / ▼ キーを押して、プログラムメニューの「開始」を選択し、ENTER キーを押す。
→ プログラムに従ってトラックを再生します。

■ プログラム再生を終了する

- ◀ / ▶ / ▲ / ▼ キーを押して、プログラムメニューの「終了」を選択し、ENTER キーを押す。

フロントパネルディスプレイの明るさを調節する

フロントパネルディスプレイの明るさを 3 段階から選択できます。

- 「一般設定ページ」の「ディマー」を選択する。

100%

もっとも明るくなります。

70%

中間の明るさです。

40%

もっとも暗くなります。

OSD 言語を設定する

テレビ画面に表示するメニュー（On-Screen Display=OSD）の言語を設定します。詳しくは、「言語を設定する」（15 ページ）をご覧ください。

スクリーンセーバーを設定する

スクリーンセーバーをオン/オフします。

- 「一般設定ページ」の「スクリーンセーバー」を選択する。

オン

ディスク再生を 15 分以上停止、または一時停止しているときに、テレビ画面にスクリーンセーバーを表示します。

オフ

スクリーンセーバーを表示しません。

スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過したときに、本機の電源を自動的にスタンバイにします。

- 「一般設定ページ」の「スリープ」を選択する。

30分、60分、90分、120分、150分

スリープタイマーがオンになる時間を設定します。

オフ

スリープタイマーをオフにします。

※

本機の電源をスタンバイにしても、スリープタイマーの設定はオフになります。

DivX® VOD 登録コードを表示する

DivX® VOD（Video On Demand）サービスを利用したビデオのレンタルや購入のためにヤマハが提供している登録コードを表示します。詳しくは、<https://vod.divx.com/> をご覧ください。

- 1 「一般設定ページ」で ▲/▼ キーを押して「DivX(R) VOD コード」を選択し、▶ キーを押す。
→ 登録コードが表示されます。
- 2 ENTER キーを押して、表示を消す。

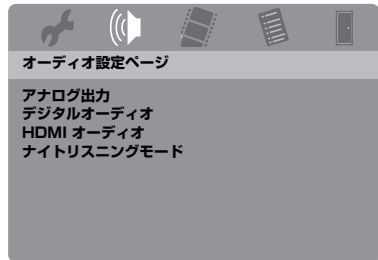
※

DivX® VOD サービス (<https://vod.divx.com/>) を利用して賃借、または購入したビデオを本機で再生するには、登録コードを入力し、パソコンを使ってビデオを CD-R にダウンロードしてください。

ご注意

- DivX® VOD からダウンロードしたビデオは、本機でのみ再生できます。
- DivX® を再生中は、タイムサーチ機能を使用できません。

オーディオ設定メニュー



アナログ出力を設定する

本機に接続するアンプに合わせて本機のアナログ音声出力方法を設定します。

- 「オーディオ設定ページ」の「アナログ出力」を選択します。

ステレオ

ステレオ音声で出力する場合に選択します。2 つのフロントスピーカーから音声を出力します。

LT/RT

本機をドルビープロロジックデコーダーに接続している場合に選択します。

デジタル出力を設定する

「デジタルオーディオ」で、「デジタル出力」、および「LPCM 出力」を設定します。

セットアップメニュー

- 1 「オーディオ設定ページ」で▲/▼キーを押して「デジタルオーディオ」を選択し、▶キーを押す。
- 2 ▲/▼キーを押して、項目を選択する。
- 3 ▶キーを押す。

デジタル出力

接続機器に合わせて、デジタル出力を設定します。

オフ

デジタル出力をオフにします。

すべて

本機の光デジタル出力端子をマルチチャンネルデコーダー／AVアンプに接続している場合に選択します。

PCMのみ

接続しているアンプがマルチチャンネルデコーダーを搭載していない場合に選択します。



- 「すべて」を選択している場合、本機はMPEG音声を2チャンネルPCMに変換して接続機器に出力します。
- 「PCMのみ」を選択している場合、DTSソースのデジタル信号は消音されます。

LPCM出力

光デジタル端子を使って本機をPCM対応のAVアンプに接続している場合、「LPCM出力」設定の変更が必要なおことがあります。

ディスクは、ある特定のサンプリング周波数で記録されています。サンプリング周波数が高いほど、音質は良くなります。

48KHz

48kHzの周波数で記録されたディスクを再生する場合に選択します。96kHzの周波数で記録されたPCMデータは、48kHzの周波数に変換します。

96KHz

96kHzの周波数で記録されたディスクを再生する場合に選択します。ディスクにコピープロテクトがかけられている場合は、デジタル出力を自動的に48kHzに変換します。48kHzの周波数で記録されたPCMデータは、48kHzのまま出力します。

- 4 ▲/▼キーを押して設定を選択し、ENTERキーを押す。

HDMI 音声出力をオン／オフする

本機をHDMI端子を使ってHDMI機器に接続している場合に、HDMI音声出力のオン／オフを選択します。

- 「オーディオ設定ページ」の「HDMIオーディオ」を選択します。

オン

HDMI音声出力をオンにします。

オフ

HDMI音声出力をオフにします。

ご注意

- HDMIの音声を出力しない場合は、「オフ」に設定してください。
- HDMI端子を使って本機に接続したモニター／AVアンプがHDMI音声信号に対応していない場合は、「オフ」に設定してください。
- 音声信号をHDMI機器に出力しているとき、光デジタル音声信号は出力されません。
- 「デジタル出力」を「オフ」に設定している場合、「HDMIオーディオ」を「オン」に設定し、モニターとAVアンプをHDMIで接続している場合でも、HDMI音声信号は出力されません。
- 「デジタル出力」を「すべて」に設定している場合でも、モニターとAVアンプがPCMフォーマットにしか対応していない場合はPCMを出力します。DTSソースを再生している場合、HDMI音声信号は消音されます。



本機ではHDMI端子から以下の音声信号を出力することができます：

32 / 44.1 / 48kHz、2チャンネルリニアPCM、ビットストリーム（ドルビーデジタル、DTS）

ナイトリスニングモードを設定する

ナイトリスニングモードを設定すると、大きな音声は控えめに、また、かすかな音声は聴き取ることができる程度に大きくして再生します。深夜にアクション映画などを視聴するときに便利です。

- 「オーディオ設定ページ」の「ナイトリスニングモード」を選択する。

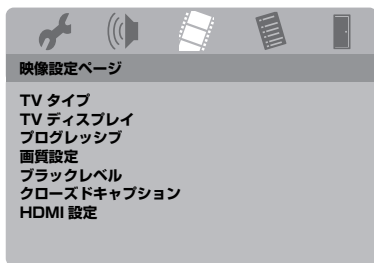
オン

ナイトリスニングモードをオンにします。ドルビーデジタルソースを再生しているときに有効になります。接続機器側のダイナミックレンジ設定は解除してください。

オフ

ソースの音声をそのまま出力するときに選択します。

映像設定メニュー



テレビの映像方式を設定する

テレビが採用している映像方式に合わせて、本機の設定を変更します。詳しくは、「テレビの映像方式を設定する」(14ページ)をご覧ください。

TV ディスプレイを設定する

テレビに合わせて、本機のアスペクト比を設定します。設定したアスペクト比にディスクが対応していない場合、設定したアスペクト比では再生されません。

- 「映像設定ページ」の「TV ディスプレイ」を選択する。

4:3 パンスキャン

テレビのアスペクト比が 4:3 の場合に選択します。映像の左右をカットして表示します。

4:3 レターボックス

テレビのアスペクト比が 4:3 の場合に選択します。ワイドの映像は、画面の上下に黒の帯をつけて表示します。

16:9

ワイドテレビの場合に選択します。



■ 本機の設定とテレビ画面の映像表示について

テレビのアスペクト比が 4:3 の場合:

設定	再生ディスク	テレビの画面表示	
4:3 パンスキャン	16:9		*1
	4:3		
4:3 レターボックス	16:9		
	4:3		

セットアップメニュー

テレビのアスペクト比が 16 : 9 (ワイド) の場合 :

設定	再生ディスク	テレビの画面表示	
16 : 9	16 : 9		
	4 : 3		*2

- *1: ディスクがパンスキャンに対応していない場合は、レターボックスで表示します。
- *2: 映像の左右が引き伸ばされることがあります。この場合、テレビの画面サイズとアスペクト比をご確認ください。

プログレッシブモードを設定する

D 端子を使って本機をプログレッシブ対応テレビと接続している場合に、高品質でちらつきが少ない映像を楽しめます (「D1/D2 ビデオ端子 <C> (D1/D2 VIDEO OUT)」 10 ページ)。

- 「映像設定ページ」の「プログレッシブ」を選択する。

オフ

プログレッシブモードをオフにします。

オン

プログレッシブモードをオンにします。

プログレッシブモードについてのご注意

- テレビがプログレッシブ機能に対応していることをご確認ください。
- D 端子を使って接続してください。
- HDMI 接続している場合、「プログレッシブ」は選択できません。
- 画面表示が消えてしまった場合でも、セットアップメニューを使わずにプログレッシブモードをオフにすることができます。詳しくは、「故障かな? と思ったら」の「D 端子を使って接続している場合に映像が出ない」(41 ページ) をご覧ください。

映像の画質を設定する

映像の画質を 3 種類の設定の中から選択できます。また、お好みに応じて調節することもできます。

- 1 「映像設定ページ」で ▲/▼ キーを押して「画質設定」を選択し、▶ キーを押す。

標準

標準的な画質です。

明るい

画像をより明るく表示します。

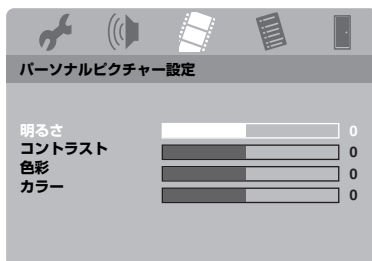
ソフト

画像をより柔らかく表示します。

パーソナル

明るさ、コントラスト、色彩、カラー (彩度) をお好みに応じて調節します。

- 2 ▲/▼ キーを押して設定を選択し、ENTER キーを押す。
- 3 手順 1 で「パーソナル」を選択した場合は、手順 4 から 7 までを操作する。
→ 「パーソナルピクチャー設定」メニューが表示されます。



- 4 ▲/▼ キーを押して、以下の項目を選択する。

明るさ

映像の明るさを調節します。「0」が平均的な明るさです。

コントラスト

明暗の強さを調節します。「0」が平均的な強さです。

色彩

色合いを調節します。「0」が平均的な色合いです。

カラー

色のレベルを調節します。「0」が平均的なレベルです。

- 5 ◀/▶ キーを押して、お好みの画質になるように調節する。

- 6 手順 4、5 を操作して、他の項目を調節する。

- 7 ENTER キーを押す。

ブラックレベルを設定する

画面暗部の黒つぶれを改善したいときに効果的です。「TV タイプ」を「NTSC」（14 ページ）に設定している場合に有効になります。「TV タイプ」を「PAL」に設定している場合は無効です。

- 「映像設定ページ」の「ブラックレベル」を選択する。

オン

画面暗部の黒がつぶれている場合に選択してください。

オフ

標準的な設定です。通常はこちらに設定してください。

ご注意

コンポジットビデオ、および S ビデオ出力信号にのみ有効です。

クローズドキャプションを表示する

クローズドキャプションは、特定のディスクの映像信号に記録されている文字データで、デコーダーを使用することによって見ることができます。字幕とキャプションの違いは、字幕はリスナーを対象にしているのに対し、キャプションは耳の不自由な方を対象にしていることです。字幕は音声をすべて表示するものではありません。例えば、キャプションは効果音（例：「電話が鳴る」、「足音」）を表示するのにに対し、字幕は効果音を表示しません。

テレビや再生するディスクがクローズドキャプションに対応していることをご確認のうえ、設定してください。

- 「映像設定ページ」の「クローズドキャプション」を選択する。

オン

クローズドキャプションをオンにします。

オフ

クローズドキャプションをオフにします。

ご注意

映像方式が NTSC で、コンポジット、または S ビデオ端子端子から映像を出力している場合に有効です。

HDMI 映像出力を設定する

HDMI 端子を使って本機を HDMI 機器に接続している場合に、接続機器に合わせて、映像出力に関する以下の項目を設定します。

- 1 「映像設定ページ」で ▲/▼ キーを押して「HDMI 設定」を選択し、▶ キーを押す。
- 2 ▲/▼ キーを押して、項目を選択する。
- 3 ▶ キーを押して、サブメニューを表示する。

セットアップメニュー

ワイドスクリーン形式

スクリーンに投影する映像のアスペクト比を設定します。HDMI 端子を使って接続し、4:3 の映像を「TV ディスプレイ」(31 ページ)を「16:9」に設定して再生しているときに有効です。

スーパーワイド

4:3 の映像の左右を引き伸ばして、16:9 のスクリーンに表示します。スクリーン中央から左右外側に行くほど、映像が広がって表示されます。

4:3 ピラーボックス

4:3 の映像を 16:9 のスクリーンにそのまま表示します。16:9 の映像を記録したディスクを再生する場合は、アスペクト比を変換せずにそのまま表示します。

オフ

アスペクト比を変換しません。

ご注意

映像信号が 480P、または 576P の場合、「ワイドスクリーン形式」は選択できません。また、「スーパーワイド」、または「4:3 ピラーボックス」に設定していてもアスペクト比は変換されません。

HDMI 画質

テレビに合わせて解像度を設定します。本機は以下の解像度に対応しています：

480p / 60Hz、576p / 50Hz、
720p / 50Hz、60Hz、
1080i / 50Hz、60Hz、
1080p / 50Hz、60Hz

480P

480 プログレッシブ映像

576P

576 プログレッシブ映像

720P

720 プログレッシブ映像

1080I

1080 インターレス映像

1080P

1080 プログレッシブ映像

自動

お使いのテレビに合わせて最適な解像度を自動的に設定します。

ご注意

「自動」以外の設定では、設定した解像度に HDMI 機器が対応していない場合、テレビに映像が正しく映らないことがあります。この場合、以下の手順を操作して「自動」に戻すことができます。

1 フロントパネルディスプレイの **OPEN/ CLOSE** (△) キーを押して、ディスクトレイを開く。

2 ◀ キーを押す。

3 **SUBTITLE** キーを押す。

- HDMI 接続している場合、「TV タイプ」、および「プログレッシブ」を設定することはできません。
- HDMI ケーブルを取り外した場合、「TV タイプ」の設定が変わることがあります。D1/D2 ビデオ、S ビデオ、コンポジットビデオ信号が正しく出力されない場合は、「故障かな?と思ったら」(40 ページ)を参照して、「TV タイプ」を設定しなおしてください。

HD JPEG

本機を HDMI ケーブルを使って HDMI 機器と接続している場合、高精細 JPEG 画像を表示できます。

オン

JPEG 画像を高精細で表示します。

オフ

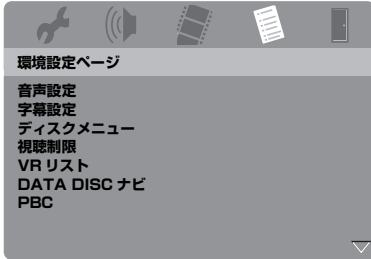
JPEG 画像を通常の画質で表示します。

ご注意

- 解像度が 720p、1080i、1080p の HDMI 信号を出力している場合に設定できます。
- JPEG (HD JPEG を含む) 画像を表示しているときは、「HDMI 設定」を選択できません。

環境設定メニュー

必要に応じて、SET UP キーを押す前に ■ キーを 2 回押して再生を停止してください。



音声、字幕、ディスクメニューの言語を設定する

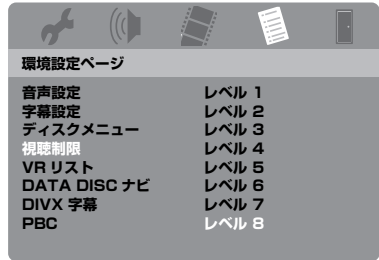
DVD-Video に記録されている音声、字幕、ディスクメニューで表示する言語を設定します。詳しくは、「音声、字幕、ディスクメニューの言語を設定する (DVD-Video)」(16 ページ) をご覧ください。

視聴制限レベルを設定する (パレンタルコントロール)

DVD の中には、ディスク全体、または特定のシーンに視聴制限を設けているものがあります。ここでは、制限レベルを設定します。

制限レベルは 1 から 8 まであり、国によってレベルが異なります。お様が視聴するのに適さないディスクの再生を禁止したり、代替シーンを再生したりすることができます。

- 1 「環境設定ページ」で ▲/▼ キーを押して「視聴制限」を選択し、▶ キーを押す。



- 2 ▲/▼ キーを押して、本機にセットされているディスクの制限レベルを選択し、ENTER キーを押す。
 - すべてのディスクを再生できるようにするには、「レベル 8」を選びます。
- 3 数字キー (0 ~ 9) を押して、6 桁のパスワードを入力する (「パスワードを変更する」37 ページ)。
 - 視聴制限がかけられたDVDディスクは、6 桁のパスワードを入力しないと再生できなくなります。

ご注意

一部の DVD ディスクでは、ディスクのジャケットに視聴制限が記載されていてもエンコードされていないものがあります。このようなディスクには、制限レベルを設定しても機能しません。

VR フォーマットを再生する

VR (Video Recording) フォーマットには、「オリジナル」と、オリジナルを元に編集して作成した「プレイリスト」という 2 種類のタイトルがあります。

- 1 「環境設定ページ」で ▲/▼ キーを押して「VR リスト」を選択し、▶ キーを押す。

セットアップメニュー

オリジナルリスト

もともと記録されているタイトルを再生します。

プレイリスト

オリジナルを元に編集して作成したタイトルを再生します。プレイリストを作成しているときのみ有効です。

- ▲/▼ キーを押して設定を選択し、ENTER キーを押す。
- VR フォーマットのディスクを再生する
- 3 SET UP キーを押して、セットアップメニューを終了する。
- 4 ►/|| キーを押して、選択したタイトルを再生する。

データディスクメニューの表示方法を選択する

フォルダ構造を持つディスクを再生する場合にフォルダメニューを表示することができます。

- 「環境設定ページ」の「DATA DISC ナビ」を選択する。

メニューなし

ディスクの全ファイルを表示します。

メニューあり

ディスクのフォルダメニューを表示します。

DivX® 外部字幕グループを選択する

DivX®では、以下のフォントグループを利用することができます。字幕ファイルに合わせて、適切な文字を画面上に表示できます。

- 「環境設定ページ」の「DIVX 字幕」を選択する。

グループ1:

アルバニア語 (sq)、バスク語 (eu)、カタロニア語 (ca)、デンマーク語 (da)、オランダ語 (nl)、英語 (en)、フェロー語 (fo)、フィンランド語 (fi)、フランス語 (fr) ドイツ語 (de)、アイスランド語 (is)、アイルランド語 (ga)、イタリア語 (it)、ノルウェー語 (no)、ポルトガル語 (pt)、レトロロマンス語 (rm)、スコットランド語 (gd)、スペイン語 (es)、スウェーデン語 (sv)

グループ2:

アルバニア語 (sq)、クロアチア語 (hr)、チェコ語 (cs)、ハンガリー語 (hu)、ポーランド語 (pl)、ルーマニア語 (ro)、スロバキア語 (sk)、スロベニア語 (sl)

グループ3:

ブルガリア語 (bg)、ベラルーシ語 (be)、マケドニア語 (mk)、ロシア語 (ru)、セルビア語 (sr)、ウクライナ語 (uk)

グループ4:

ヘブライ語 (iw)、イディッシュ語 (ji)

グループ5:

トルコ語 (tr)

ご注意

- 本機は日本語の外部字幕ファイルには対応していません。
- 外部字幕ファイルが正しく表示されなかったり、まったく表示されない場合があります。
- ディスクの構成や記録状態により、ファイルを再生できない場合があります。
- 同じ映像ファイルで切り替えられる外部字幕ファイルは、最大 10 ファイルです。

☛

- 外部字幕ファイルでは、以下の拡張子をサポートしています (これらのファイルはディスクメニューでは表示されません) :
.srt、.sub、.ssa、.smi
- 外部字幕ファイル用のファイル名の最初に、映像ファイルのファイル名をつけてください。

セットアップメニュー

プレイバックコントロール (PBC) 機能を設定する

プレイバックコントロール (PBC) 機能のオン/オフを切り替えます。PBC 対応のビデオ CD (バージョン 2.0 以降) 再生時に設定することができます。

- 「環境設定ページ」の「PBC」を選択する。

オン

ディスクメニューを表示します。

オフ

ディスクメニューを表示しません。ディスクの最初から再生します。



リモコンの **MENU** キーを押して、プレイバックコントロール機能のオン/オフを切り替えることもできます (「プレイバックコントロールメニュー (PBC) を操作する」20 ページ)。

オートスタンバイを設定する

オートスタンバイ機能のオン/オフを設定します。

- 「環境設定ページ」の「オートスタンバイ」を選択する。

オン

再生を 30 分以上停止、または一時停止している場合に、自動的に電源をスタンバイにします。

オフ

オートスタンバイ機能をオフにします。

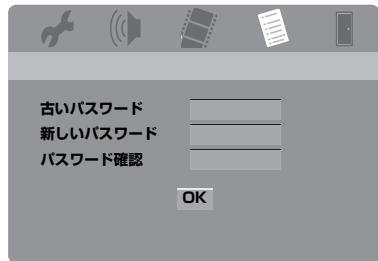
パスワードを変更する

パレンタルコントロールや視聴制限で使用するパスワードを変更します。パスワード入力画面が表示されたら、設定した 6 桁のパスワードを入力してください。初期設定のパスワードは、000 000 です。

- 1 「環境設定ページ」で ▲/▼ キーを押して「パスワード」を選択し、▶ キーを押して「変更」を選択する。



- 2 ENTER キーを押して、パスワード変更画面を表示する、



- 3 数字キー (0 ~ 9) を押して、現在設定している (古い) パスワードを入力する。
 - はじめてパスワードを変更するときは「000 000」と入力します。
 - パスワードを忘れてしまったときは「000 000」と入力します。
- 4 新しい6桁のパスワードを入力します。
- 5 もう一度新しい6桁のパスワードを入力します。
- 6 ENTER キーを押して、決定します。
→ 新しいパスワードが有効になります。

セットアップメニュー

設定を初期化する

「パスワード」、および「視聴制限」、「ディスクロック」以外の本機の設定を工場出荷時の状態に戻します。

- 1 「環境設定ページ」で▲/▼ キーを押して、「デフォルト」を選択し、▶ キーを押して「リセット」を選択する。
- 2 ENTER キーを押す。
 - すべての設定が工場出荷時の状態に戻ります。

以下の言語コードは、選択項目以外の言語を設定する場合に使用します。「音声設定」、または「字幕設定」、「ディスクメニュー」の言語には反映されません。

アイスランド	7383	グジャラート	7185	チュアング	9065	ベンガル	6678
アイマラ	6589	クメール	7577	中国語	9072	ポーランド	8076
アイルランド	7165	グリーンランド	7576	チュバシュ	6786	ボスニア	6683
アヴェスター	6569	グルジア	7565	ツォンガ	8483	ボラビュク	8679
アゼルバイジャン	6590	クルド	7585	ツワナ	8478	ポルトガル	8084
アッサム	6583	クロアチア	7282	ティグリニア	8473	マーシャル語	7772
アフアール	6565	クワチャマ	7574	テルグ	8469	マオリ	7773
アフハス	6566	ゲール (スコットランド)	7168	デンマーク	6865	マケドニア	7775
アフリカーンス	6570	ケチュア	8185	ドイツ	6869	マラーティー	7782
アムハラ	6577	コーサ	8872	トゥイ	8487	マラガシ	7771
アラビア	6582	コーンウォール	7587	トルクメン	8475	マラヤーラム	7776
アルバニア	8381	古代教会スラブ	6785	トルコ	8482	マルタ	7784
アルメニア	7289	古ブルガリア	6785	トンガ	8479	マレー	7783
アイド	7379	コミ	7586	ナウル	7865	マン島	7186
イタリア	7384	コルシカ	6779	ナバホ	7886	モルダビア	7779
イディッシュ	8973	サーミ、北部	8369	ニーノシュク (ノルウェー)	7878	モンゴル	7778
イヌクティトゥット	7385	サモア	8377	日本	7465	ヨルバ	8979
イヌピアック	7375	サルデーニャ	8367	ニャンジャ	7889	ラオ	7679
インターリング	7369	サンゴ	8371	ヌデベレ、南部	7882	ラテン	7665
インターリングア	7365	サンスクリット	8365	ヌデベレ、北部	7868	ラトビア	7686
インドネシア	7368	ジャワ	7486	ネパール	7869	リトアニア	7684
ウィグル	8571	ショナ	8378	ノルウェー	7879	リンカラ	7678
ウェールズ	6789	シンド	8368	バーリ	8073	リンブルク	7673
ウオロフ	8779	シンハラ	8373	ハウサ	7265	ルーマニア	8279
ウクライナ	8575	スウェーデン	8386	バシキール	6665	ルクセンブルク	7666
ウズベク	8590	ズールー	9085	バシュトー	8083	ルンディ	8278
ウルドゥー	8582	スペイン	6983	バスク	6985	レットロマンス	8277
英語	6978	スロバキア	8375	ハンガリー	7285	ロシア	8285
エストニア	6984	スロベニア	8376	パンジャブ	8065	ワロン	8765
エスペラント	6979	スワジ	8383	ビスラマ	6673	ソンドンガ	7871
オセツト	7983	スワヒリ	8387	ビハール	6672		
オック (1500年以降)	7967	スンダ	8385	ヒリ・モツ	7279		
オランダ	7876	セルビア	8382	ビルマ	7789		
オリヤー	7982	ソト、南部	8384	ヒンディー	7273		
オロモ	7977	ソマリ	8379	フィジー	7074		
カザフ	7575	ゾンカ	6890	フィンランド	7073		
カシミール	7583	タイ	8472	ブークモール (ノルウェー)	7866		
カタロニア	6765	タガログ	8476	フェロー	7079		
ガリシア	7176	タジク	8471	フランス	7082		
韓国語	7579	タタール	8484	フリジア	7089		
カナダ	7578	タヒチ	8489	ブルガリア	6671		
キクユ	7573	タミル	8465	ブルターニュ	6682		
キニヤルワンダ	8287	チェコ	6783	プロバンス	7967		
キャストリヤ	6983	チェチエン	6769	ベトナム	8673		
教会スラブ	6785	チェウ	7889	ヘブライ	7269		
ギリシャ	6976	チチェウ	7889	ベラルーシ	6669		
キルギス	7589	チベット	6679	ベルシア	7065		
グアラニ	7178	チャモロ	6772	ヘレロ	7290		

故障かな？と思ったら

使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記の点をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や、対処しても正常に動作しない場合は、本機の電源をスタンバイにし、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問い合わせください。

症状	解決方法
電源が入らない	電源プラグがしっかりと差し込んであるかご確認ください。
	本機の STANDBY/ON キーを押して電源を入れてください。
CD または DVD を読み込まない	市販の CD / DVD 用レンズクリーナーを使ってレンズを掃除してください。
フロントパネルディスプレイに「NO DISC」と表示される	ディスクがディスクトレイに正しく置かれているかご確認ください。
フロントパネルディスプレイに「UN DISC」と表示される	本機で再生できるディスクかご確認ください（「再生できるディスク / フォーマット」4 ページ）。
ディスク / ファイルを再生できない	CD-R / RW、DVD+R / RW / R DL、DVD-R / RW / R DL の各ディスクはファイナライズしてください。
	ディスクのラベル面が上になっているかご確認ください。
	ディスクが破損している可能性があります。別のディスクを再生してみてください。
	個人で作成した JPEG、MP3、WMA ディスクを再生する場合、JPEG では少なくとも 10 枚の画像、MP3 / WMA では 5 曲のトラックが記録されているかご確認ください。
	リージョンコードをご確認ください（「リージョンコードについて」3 ページ）。
	MP3 / WMA の場合、本機が対応しているサンプリング周波数、またはビットレートかご確認ください（「主な仕様」46 ページ）。
	JPEG の場合、本機が対応している解像度かご確認ください（「主な仕様」46 ページ）。
	WMA / WMV の場合、DRM（Digital Rights Management）で保護されていないかご確認ください。
	WMV の場合、ファイルが WMV9 でエンコードされているかご確認ください。
	WMV の場合、ファイルが Advanced Profile でないことをご確認ください。
WMV の場合、ファイルの解像度が 720 × 480 ピクセル以下であるかご確認ください。	
映像が出ない	DVD の画面が表示されるまで、テレビの映像入力を切り替えてください。映像入力の切り替え方法についてはテレビの取扱説明書をご覧ください。
	テレビの電源をオンにしてください。
	映像端子が正しく接続されているかご確認ください。
HDMI 接続している場合に映像が出ない	以下の手順を操作して、「HDMI 画質」を「自動」に切り替えてください。 <ol style="list-style-type: none"> フロントパネルの OPEN/CLOSE (△) キーを押す、またはリモコンの ■ キーを長押しして、ディスクトレイを開く。 リモコンの ◀ キーを押す。 リモコンの SUBTITLE キーを押す。

故障かな？と思ったら

症状	解決方法
D端子を使って接続している場合に映像が出ない	以下の手順を操作して、プログレッシブモードをオフにしてください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. フロントパネルの OPEN/CLOSE (△) キーを押す、またはリモコンの ■ キーを長押しして、ディスクトレイを開く。 2. リモコンの ◀ キーを押す。 3. リモコンの ZOOM キーを押して、プログレッシブモードをオフにする。
映像がひどく歪む／白黒になる／表示されない	ディスクが本機に対応しているかご確認ください (「再生できるディスク / フォーマット」4 ページ)。 テレビ、およびディスクの映像方式が本機の設定と合っているかご確認ください (「テレビの映像方式を設定する」14 ページ)。以下の手順を操作して、「TV タイプ」の設定を変更してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. フロントパネルの OPEN/CLOSE (△) キーを押す、またはリモコンの ■ キーを長押しして、ディスクトレイを開く。 2. リモコンの ▶ キーを押す。 3. リモコンの AUDIO キーを押す。
映像が歪む	ディスクにより、まれに映像が多少歪むことがあります。この場合、本機の故障ではありません。 映像端子が正しく接続されているかご確認ください。
再生中に映像が一時的に止まる	ディスクのデータ面に傷や汚れがないかご確認ください。汚れている場合は、乾いた柔らかい布でディスクの中心から外側へ向けて拭いてください。 WMV / DivX® の場合、より低いビットレートにすると、改善することがあります。
HD JPEG 画像が表示されない	「HD JPEG」が「オン」に設定されているかご確認ください (34 ページ)。 ディスクを読み込むのに 30 秒以上かかることがあります。 MP3 音楽と HD JPEG 画像を同時に再生することはできません。
映像サイズがおかしい／キャプション (字幕) が部分的に表示されなかったり、まったく表示されない	本機のアスペクト比の設定がテレビの画面サイズと合っているかご確認ください (「TV ディスプレイを設定する」31 ページ)。 テレビの画面サイズとアスペクト比を適切に設定してください。
音が出ない、または歪む	音量を調節してください。 スピーカーが正しく接続されているかご確認ください。 音声端子が正しく接続されているかご確認ください。 MP3 / WMA の場合、サンプリング周波数、およびビットレートが本機に対応しているかご確認ください (「主な仕様」46 ページ)。 WMV / DivX® の場合、より低いビットレートにすると、改善することがあります。

故障かな？と思ったら

症状	解決方法
デジタル音声出力されない	デジタル音声端子が正しく接続されているかご確認ください。 DTS ソースを再生している場合、ご使用のアンプが DTS デコードに対応していて、「デジタル出力」が「すべて」に設定されているかご確認ください（30 ページ）。 選択した音声のフォーマットがご使用のアンプに対応しているかご確認ください。
DivX® 再生時に音声が出ない	本機が音声コードに対応していない可能性があります。
リモコンで本機を操作できない	リモコンの赤外線送信部をフロントパネルのリモコン受光窓に向けて操作してください。 リモコンの操作範囲内で操作してください。 リモコンの乾電池を交換してください。 乾電池の向き（+ / -）が正しいかご確認ください。
キー操作がきかない	本機をリセットするため、電源プラグをコンセントから抜いて、約 10 秒後に再度電源プラグをコンセントに接続してから、電源をオンにしてください。
再生中に操作できない機能がある	ディスクにより、再生できない機能があります。ディスクのジャケット等にある説明もご覧ください。
メニュー項目を選択できない	セットアップメニューに入る前に、■ キーを 2 回押ししてください。 ディスクにより、選択できないメニュー項目があります。
本機が USB デバイスを認識しない	USB デバイスが正しく接続されているかご確認ください。 USB マスストレージクラスに対応しているにもかかわらず、本機で使用できないデバイスがあります。 本機の電源を一度スタンバイにし、再度オンにしてください。 本機の電源を一度スタンバイにし、USB デバイスを抜いてから、再度 USB デバイスを接続し、電源をオンにしてください。 USB デバイスに AC アダプターが付属している場合は、アダプターを USB デバイスに接続してください。 テレビ画面に「非対応 USB デバイスです」と表示された場合、USB デバイスが本機に対応しているかご確認ください（「本機に対応している USB デバイス」23 ページ）。 テレビ画面に「USB の消費電力が大きすぎます 非対応 USB デバイスです」と表示された場合、お使いの USB デバイスは本機で使用できません（「本機に対応している USB デバイス」23 ページ）。
CD の音楽を USB デバイスに録音できない	USB が正しく接続されているかご確認ください。 USB デバイスが本機に対応しているかご確認ください。 SCMS（Serial Copy Management System）により、デジタルコピーが禁止されているトラックは録音できません。 CD 規格に準拠していない著作権保護機能がついている音楽ディスクは録音できません。

故障かな？と思ったら

症状	解決方法
<p>CDの音楽をUSBデバイスに録音中に、録音が停止する</p>	<p>テレビ画面に「ファイル数オーバー」と表示された場合、必要ないファイルを削除する、または新しいフォルダを作成し、そこへファイルを移動して、USBデバイスに保存されているファイルの数を減らしてください。本機はルートフォルダに最大648までのファイルを録音できます。上記のメッセージが表示された場合、ENTER キーを押して録音をキャンセルしてください。</p> <p>テレビ画面に「USB フル」と表示された場合、USBデバイスに十分な空き容量を確保するために、必要ないファイルは削除してください。上記のメッセージが表示された場合、ENTER キーを押して録音をキャンセルしてください。</p> <p>テレビ画面に「トラック 999 オーバー」と表示された場合、パソコンなどを使って、「TRACK999」のファイル名を変更するか、新しくフォルダを作成し、そこへファイルを移動してください。上記のメッセージが表示された場合、ENTER キーを押して録音をキャンセルしてください。</p> <p>テレビ画面に「USB デバイスエラー」と表示された場合、本機とUSBデバイスが正しく接続されているかご確認ください。上記のメッセージが表示された場合、ENTER キーを押して録音をキャンセルしてください。</p> <p>テレビ画面に「ディスクエラー」と表示された場合、ディスクのデータ面に傷や汚れがあります。汚れている場合は、乾いた柔らかい布でディスクの中心から外側へ向けて拭いてください。上記のメッセージが表示された場合、ENTER キーを押して録音をキャンセルしてください。</p> <p>テレビ画面に「コピー禁止」と表示された場合、トラックがSCMS (Serial Copy Management System) によって保護されていないかご確認ください。SCMSにより、デジタルコピーが禁止されているトラックは録音できません。上記のメッセージが表示された場合、ENTER キーを押して録音をキャンセルしてください。</p>
<p>「MP3録音」でUSBデバイスに録音したMP3ファイルを再生できない、または再生中に停止する</p>	<p>録音を途中で停止した場合、停止した地点で再生は止まります。再度録音してください。</p> <p>録音中にテレビ画面に「USB フル」、または「USB デバイスエラー」、「ディスクエラー」と表示された場合、作成したファイルを再生できません。上記「CDの音楽をUSBデバイスに録音中に、録音が停止する」をご覧ください。問題を解決したうえで、再度録音してください。</p>
<p>USBデバイスに録音した音声の音質が悪い／音飛びする／ノイズが入っている</p>	<p>CDの状態をご確認ください（例：音質、ノイズ、傷、汚れなど）。</p>

■ アスペクト比

画面や画像の縦と横の長さの比率です。従来のテレビは3対4、ワイドテレビなどは9対16です。

■ アナログ

データが時間的または空間的に連続して変化する量で表されることです。アナログ端子は、左右2つのチャンネルから音声を出力します。

■ インタラクティブメニュー

インタラクティブ映像メニューは、かつてない利便性と操作性を提供することにより、さまざまなシーンやボーナス機能、オーディオトラック、字幕オプションを簡単に選択することができます。

■ 映像出力端子

DVD プレーヤーの背面にある端子で、テレビに映像を出力します。

■ 音声出力端子

DVD プレーヤーの背面に装備されている、他の機器（テレビ、アンプなど）に音声を伝送するための端子です。

■ サラウンド

リスナーの周りに複数のスピーカーを配置することによってリアルな3D音場を創造するシステムです。

■ 視聴制限

青少年に好ましくないディスクや場面の視聴を拒否するために、DVDビデオに組み込まれた機能です。

■ タイトル

DVD やビデオソフト、オーディオソフトの全アルバムに記録されている映像や音声の、もっとも長い区切りです。それぞれのタイトルは、タイトルごとに番号が割り当てられており、それによって見たいタイトルを呼び出すことができます。

■ チャプター

DVD に記録されている映像や音声の、タイトルよりも小さい区切りです。いくつかのチャプターが集まって、タイトルが構成されます。それぞれのチャプターは、チャプターごとに番号が割り当てられており、それによって見たいチャプターを呼び出すことができます。

■ ディスクメニュー

DVD に音声、字幕、アングルなどの情報が記録されている場合、テレビ画面にそれらのメニューが表示されます。

■ デジタル

データが有限桁の数値で表されていることをデジタルといいます。COAXIAL（同軸）またはOPTICAL（光）デジタル端子は複数のチャンネルから音声を出力します。

■ ドルビーデジタル

ドルビーデジタルは、完全に独立したマルチチャンネル音声を再生できるデジタルサラウンドシステムです。全帯域の音声成分を持つフロントの3チャンネル（フロントL/R、センター）と、サラウンドのステレオ2チャンネル、低音域専用のLFEチャンネルの合計5.1チャンネルで構成されます。サラウンドがステレオ2チャンネルで記録されているため、音の移動感、木々のざわめきや波の音などの繊細な環境音も明確に再現できます。

■ ビットレート

1秒間あたりのビット量のことをビットレートといいます。アナログ音声信号をデジタル信号化する際に、音の大きさを数値化するときのきめ細かさを量子化ビット数といい、これが大きいほど音の大きさの変化をきめ細かく再現できることになります。

■ プレイバックコントロール（PBC）

ビデオCDやスーパービデオCDに記録された信号により、再生をコントロールすることができます。プレイバックコントロールメニューをテレビ画面に表示させると、見たい場面や情報を選ぶことができます。

■ プレイリスト

VRフォーマット対応のディスクで、オリジナルを元に編集して作成したタイトルです。

■ プログレッシブスキャン

1画面のすべての走査線を1度に表示する走査方式です。インターレースに比べ、ちらつきが少なく滑らかな画像を映し出すことができます。

■ リージョンコード

映画上映前の地域にDVDビデオが出回らないことを目的に、DVDに組み込まれた仕組みです。世界を6つに地域に分割し、それぞれの地域に割り当てた1～6のコードをリージョンコードといいます。DVDプレーヤーとディスクのリージョンコードが一致しないと再生できないようになっています。

■ D1/D2 映像出力端子

DVDプレーヤーの背面に装備されている、D1～D5映像入力端子を装備しているテレビに高画質な映像を伝送するための端子です。

■ DivX®

DivX®は、DivX, Incが開発した評価の高いメディア技術です。DivX®のメディアファイルは、高画質を維持しながら、高い圧縮率でコンパクトに圧縮できます。DivX®で圧縮するファイルには、メニューや、字幕、サブオーディオトラックなども含めることができます。DivX.comでは、DivX®メディアファイルを多数掲載しています。これらのメディアをダウンロードしてDivX®の専用ツールを使えば、オリジナルのコンテンツを作成できます。

■ DivX® Ultra

DivX®メディアフォーマットがサポートしている高度なメディア機能を用いた再生を楽しむことができる、DivX®の規格です。インタラクティブなビデオメニューや字幕、音声の切り替え、ビデオタグ、チャプターポイントが主な特長です。

■ DMF (DivX® Media Format)

インタラクティブビデオメニュー、チャプターポイント設定、複数言語字幕、複数音声といった高度なメディア機能に対応したDivX®フォーマットです。

■ DTS

多くの映画館で採用されている最大5.1チャンネルのサラウンドシステムです。情報量が多いため、リアルな音響効果が得られます。

■ HDCP

HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) は、デジタルビデオ/オーディオデータの保護を目的とする、Intel社が開発した暗号方式です。HDCPについて詳しくは、以下のHDCPウェブサイトをご覧ください。
www.digital-cp.com

■ HDMI

世界業界標準規格であるHDMI (High-Definition Multimedia Interface Specification) 規格に準じた、次世代テレビ向けのデジタルインターフェースです。マルチチャンネルソースのデジタル音声信号と、標準画質から高画質な映像を1本の専用ケーブルで伝送します。

■ HD JPEG

HD (High-Definition = 高精細) JPEG では、HDMI 接続をすることで高い解像度の画像を表示することができます。

■ JPEG

画像圧縮アルゴリズムを制定する目的で設立された団体 (Joint Photographic Coding Experts Group) によって策定された、静止画像を10分の1～100分の1に圧縮する技術です。風景や写真データなどを圧縮するのに効果的です。

■ MP3

高圧縮で高品質な音声データ圧縮技術です。Motion Picture Experts Group 1 (MPEG 1) Audio Layer 3の略で、MPEG1とMPEG2の音声圧縮で使われています。CD品質のデジタルサウンドデータを約10分の1に圧縮できます。

■ PCM (Pulse Code Modulation)

MP3形式のようにアナログ音声信号を圧縮せずに、そのまま符号化して録音、伝送する方式です。Pulse Code Modulationの略で、デジタル信号をパルスの符号にして変調記録するという意味です。音楽CDやDVDオーディオの録音方法などで採用されています。

■ S-video

DVDプレーヤーの背面にある端子で、Sビデオ入力端子のあるテレビに映像を出力します。映像信号を、輝度を表すY信号と色を表すC信号に分けて伝送するため、より美しい映像で録画、再生をお楽しみいただけます。

■ VR (Video Recording) フォーマット

録画時にファイルと時間の位置を対応させる情報をディスクに記録するため、録画後に編集が可能です。VRフォーマット対応のプレーヤーでのみ再生可能です。

主な仕様

再生可能なディスク

- ・ DVD-Video
- ・ DVD-R、DVD-RW、DVD-R DL
- ・ DVD+R、DVD+RW、DVD+R DL
- ・ ビデオ CD、スーパービデオ CD
- ・ CD
- ・ ビクチャー CD
- ・ CD-R、CD-RW
- ・ MP3 (ISO 9660)
サンプリング周波数 32、44.1、48kHz
..... 96 ~ 320kbps
- ・ WMA
サンプリング周波数 44.1kHz 64 ~ 192kbps
サンプリング周波数 48kHz 128 ~ 192kbps
- ・ WMV 720 × 480 ピクセル以下
- ・ DivX®
- ・ JPEG 3072 × 2048 ピクセル以下

ビデオ部性能

- ・ コンポジットビデオ出力 1Vpp / 75Ω
- ・ Sビデオ出力 Y: 1Vpp / 75Ω
C: 0.3Vpp / 75Ω
- ・ D端子出力 Y: 1Vpp / 75Ω
PB、PR: 0.7Vpp / 75Ω

オーディオフォーマット

- ・ デジタル
ドルビーデジタル、DTS 圧縮デジタル
PCM サンプリング周波数 44.1、48、96 kHz /
16、20、24 ビット
- ・ アナログ ステレオ

オーディオ部性能

- ・ DAコンバーター 24ビット
- ・ SN比 (1kHz) 105dB
- ・ ダイナミックレンジ (1kHz) 97dB
- ・ DVD サンプリング周波数 96kHz、2Hz ~ 44kHz /
サンプリング周波数 48kHz、2Hz ~ 22kHz
- ・ スーパービデオ CD
サンプリング周波数 48kHz、2Hz ~ 22kHz /
サンプリング周波数 44.1kHz、2Hz ~ 20kHz
- ・ CD、ビデオ CD
サンプリング周波数 44.1kHz、2Hz ~ 20 kHz
- ・ 全高調波歪率 (1kHz) 0.0035%

マルチメディアアプリケーション

- ・ 接続 USB マスストレージクラス
- ・ 再生フォーマット (USB デバイス)
MP3 サンプリング周波数 32、44.1、48kHz /
96 ~ 320kbps
WMA
..... サンプリング周波数 44.1kHz / 64 ~ 192kbps
サンプリング周波数 48kHz / 128 ~ 192kbps
WMV 720 × 480 ピクセル以下
DivX®
JPEG 3072 × 2048 ピクセル以下

ビデオ信号方式

- ・ 走査線数 PAL: 625、NTSC: 525
- ・ 垂直周波数 PAL: 50Hz、NTSC: 60Hz
- ・ 再生 マルチ (PAL / NTSC)

接続部

- ・ コンポジットビデオ出力 1 (黄)
- ・ Sビデオ出力 ミニ DIN、4ピン × 1
- ・ D端子出力 (Y、PB、PR) 1
- ・ アナログ出力 (L / R) 1組 (白 / 赤)
- ・ デジタル出力
光デジタル 1
(IEC60958: CDDA、LPCM /
IEC61937: ドルビーデジタル、DTS)
- ・ HDMI タイプ A × 1
- ・ USB タイプ A × 1
- ・ リモート端子
入力 φ 3.5mm ミニプラグ × 1
出力 φ 3.5mm ミニプラグ × 1

キャビネット部

- ・ 外形寸法 (幅 × 奥行き × 高さ) 435 × 310 × 51mm
- ・ 質量 約 2.6kg

電源部

- ・ 電源電圧 / 周波数 AC100V、50Hz / 60Hz
- ・ 消費電力 約 16W
- ・ 待機時消費電力 1W 以下

レーザー

タイプ	半導体レーザー GaAs / GaAlAs
波長	650nm (DVD) 780nm (ビデオ CD / CD)
出力	7mW (DVD) 10mW (ビデオ CD / CD)
ビーム広がり	60度

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。サービスの依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

<http://www.yamaha.co.jp/audio/>

■ AVお客様ご相談センター



0570-01-1808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付日：月～土曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）
受付時間：10:00～12:00、13:00～18:00

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ電気音響製品修理受付センター



0570-01-2808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

FAX (053) 463-1127

受付日：月～土曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）
受付時間：月～金曜日 9:00～19:00 土曜日 9:00～17:30

修理お持ち込み窓口

受付日：月～金曜日（祝日および弊社の休業日を除く）
受付時間：9:00～17:45

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50
ヤマハセンター内
FAX (011) 512-6109

首都圏 〒1143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

浜松 〒435-0016 浜松市東区和田町200
ヤマハ(株)和田工場内
FAX (053) 462-9244

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2
ヤマハ(株)名古屋倉庫3F
FAX (052) 652-0043

大阪 〒564-0052 吹田市広芝町10-28
オーク江坂ビルディング2F
FAX (06) 6330-5535

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4
FAX (092) 472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

- **保証期間**
お買い上げ日から1年間です。
- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- **修理料金の仕組み**
技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別送、駐車料金をいただく場合があります。

- **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **製品の状態は詳しく**
サービスを依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。
- **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

- **消耗部品の交換について**
本機には使用年数とともに性能が劣化する消耗部品(下記参照)が使用されています。消耗部品の劣化の進行度は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定にご愛用いただくためには、定期的な消耗部品を交換されることをおすすめします。消耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品修理受付センターへご相談ください。

消耗部品の一例

ポリウムコントロール、スイッチ・リレー、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を!



こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コグくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズ変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1

